IHI

Parking Systems



二・多段式パーキング

機械式駐車装置　（認証基準対応）

取扱説明書

▶「2-1 パーキング全体」を確認して、対象となる機種を確認してください。

▶上図は、実際と異なる場合があります。

この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになった後は、いつでも必要な時に取り出せるよう大切に保管してください。

株式会社IHI扶桑エンジニアリング

目　次

1.　はじめに 1

1-1　配付物一覧表 1

1-2　危険・警告・注意および記号について 2

1-3　本書対象者の定義 3

1-4　関連取扱説明書 4

2.　パーキングの設備 5

2-1　パーキング全体 5

2-2　乗降エリア 8

2-3　操作盤・非常停止ボタン 13

2-4　前面ゲート 14

2-5　車止め 16

2-6　センサ・無人確認入力器 17

2-6-1 車長センサ 17

2-6-2 侵入センサ 17

2-6-3 区画センサ・後部センサ 18

2-6-4 ゲート乗越えセンサ 18

2-6-5 無人確認入力器 19

2-7　制御盤 20

2-8　ターンテーブル（オプション） 21

2-9　警告銘板の位置と内容について 23

3.　入庫の条件 29

3-1　入庫車に関する安全重要項目 29

3-1-1 入庫可能な車の寸法・重量 29

3-1-2 駐車スペースについて 30

3-1-3 乗込台について 31

3-1-4 車の付属物について 32

4.　運転操作方法 35

4-1　パーキング運転操作時の安全重要項目 35

4-2　入出庫操作（タッチパネル式操作盤） 40

4-2-1 入出庫操作の概要 40

4-2-2 入出庫手順 41
4-3 入出庫操作（タッチレス操作）（オプション） 50
4-3-1 入出庫操作の概要 50
4-3-2 入出庫手順 51
4-4 ターンテーブルの操作 54
4-5 ＩＣカードの設定（登録・照会方法） 56
4-6 IC カードの設定（削除方法） 58
4-7 電気自動車用普通充電コンセントご利用手順（オプション） 59
5. 点検・保守 61
5-1 日常の点検 61
5-1-1 日常の点検リスト 61
5-1-2 パーキングの点検 62
5-1-3 清掃 62
5-2 定期保守 63
5-2-1 メンテナンス体制および保守契約の概要 63
5-3 部品の交換周期 64
6. 災害時の対処 66
6-1 火災時の対処 66
6-2 地震時の対処 67
6-3 強風時の対処 68
6-4 豪雨時の対処 69
6-4-1 インターロック機能と解除方法について 69
6-5 積雪時の対処 70
6-6 停電時の対処 71
7. その他の注意事項 72
7-1 改造について 72
7-2 錆・白さび・油など汚れの対処 72
8. こんなときは 73
8-1 異常発生時の対処 73
8-1-1 異常発生時のタッチパネル表示および対処方法 73
8-1-2 その他のタッチパネル表示 75
8-2 よくある質問 77

9. 管理者の役割 78
9-1 管理者の役割 78
10. サービスネットワーク 79
10-1 サービスネットワーク 79

1. はじめに

この取扱説明書（以下「本書」）は、機械式駐車装置（以下「パーキング」）についてオーナー・管理者・取扱者のために使用方法および日常の点検について説明しています。

パーキングは正しく使用すれば事故が起きないように、安全に配慮して設計されています。しかし、間違った使いかたをすると、けがや死亡、物損につながる危険性があります。

パーキングを安全にお使いいただくために、ご使用になる前に本書をよく読み内容を十分理解して正しくお使いください。

本書の記載内容を遵守しない場合に発生した事故に関しては、当社は責任を負いません。

本書は、ＩＨＩ扶桑エンジニアリング製　二・多段式パーキングの全機種を対象に作成しております。本書をお読みになる前に対象となるパーキングを確認してください。

大分類として下記の3種類になります。

・昇降ピット式（ピット有）
・昇降横行式（ピット有・無）
・昇降横行　縦列式（ピット有・無）

1-1 配付物一覧表

取扱者	管理者（オーナー）
・取扱説明書 ・操作キー	・取扱説明書 ・操作キー ・制御盤キー ・インターロック解除方法 （単純昇降式のみ）

※別途、仕様によって電気自動車用普通充電装置取扱説明書（オプション）、電気自動車用普通充電コンセントボックス用キー（オプション）、消火設備用取扱説明書（消火設備本体に添付）などがあります。

1-2　危険･警告･注意および記号について

■ 危険・警告・注意の意味

パーキングは、取扱者の安全を第一に考え、設計されています。しかしながら、システムの性質上、どうしても取り除くことができないリスクが存在します。本書では、それらのリスクのレベルを、「⚠危険」、「⚠警告」、「注意」の3段階に分けて表示しています。
表示項目をよく読み十分に理解してから、パーキングの操作および日常の点検をおこなってください。

「⚠危険」、「⚠警告」、「注意」項目の表示は、リスクに関する結果の重大性の順（⚠危険>⚠警告>注意）で、その内容を下記に説明します。

⚠ 危　険

「⚠危険」項目は、パーキングの運転中に、人が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと考えられる場合について記載しています。

⚠ 警　告

「⚠警告」項目は、パーキングの運転中に、人が死亡または重傷を負う可能性がある場合について記載しています。

注　意

「注意」項目は、パーキングや関連機器、車などに破損や故障を引き起こす可能性がある場合について記載しています。

■ 記号の意味

本書では、次のような記号を使用しています。

	おこなってはいけない「禁止」項目を示します。
	必ずおこなっていただく「強制」項目を示します。
	使用の際に参考となる情報です。

1-3 本書対象者の定義

本書は、パーキングに関与されるすべての方を対象に作成しておりますが、安全上、記載内容に応じ対象者の定義分けをおこなっています。
その対象区別を明記し、該当する対象者のみ記載されている内容をおこなうことが許されます。

シンボル	対象者	説明
O	**オーナー**	パーキングの所有者です。 パーキングを適切に管理するために、管理者を任命し、教育する義務を有しています。管理者を任命しない場合は、オーナーが管理者を兼任し、適切な保守、管理をおこなってください。
M	**管理者**	オーナーから依頼を受け、安全管理に関する最高責任者として、パーキングの保守、管理をおこなう方です。 メンテナンス会社へ定期的な保守作業を委託してください。管理者は取扱者を指定して、使用の許可を与えてください。また、取扱者に対して、本書を配布し、パーキングの取扱方法を十分に指導してください。
U	**取扱者**	取扱者は、操作盤を使用して入出庫操作をおこなう方です。 取扱者は事前に本書をよく読み、管理者から取扱方法の指導を十分に受けて許可されたうえで、パーキングを使用してください。 取扱者は入出庫操作における責任者です。入出庫時にお連れの方や、第三者の安全確保・管理および物品の管理を責任もっておこなってください。

“取扱者”に定義される対象者は、マンション・時間貸し駐車場・テナントビルの場合で異なりますので、下表を参照してください。

用　途	取扱者
マンション	使用を許可された者
時間貸し駐車場	使用を許可された専任の者
テナントビル	使用を許可された者

本文中では以下の例のようにシンボルを用いて対象となる方を示します。
（例）オーナーと管理者のみが対象の内容。



1-4 関連取扱説明書

O	M	U
オーナー	管理者	取扱者

パーキングでは、仕様によって本書のほかに以下の取扱説明書をお渡しする場合があります。
パーキングを安全かつ正しくご使用いただくために、以下の取扱説明書もあわせてお読みください。

- **電気自動車用普通充電コンセントご利用手順**
  電気自動車用普通充電コンセントの取り扱いについて説明しています。
- **消火設備用取扱説明書（消火設備本体に添付）**
  消火設備の取り扱いについて説明しています。

2. パーキングの設備

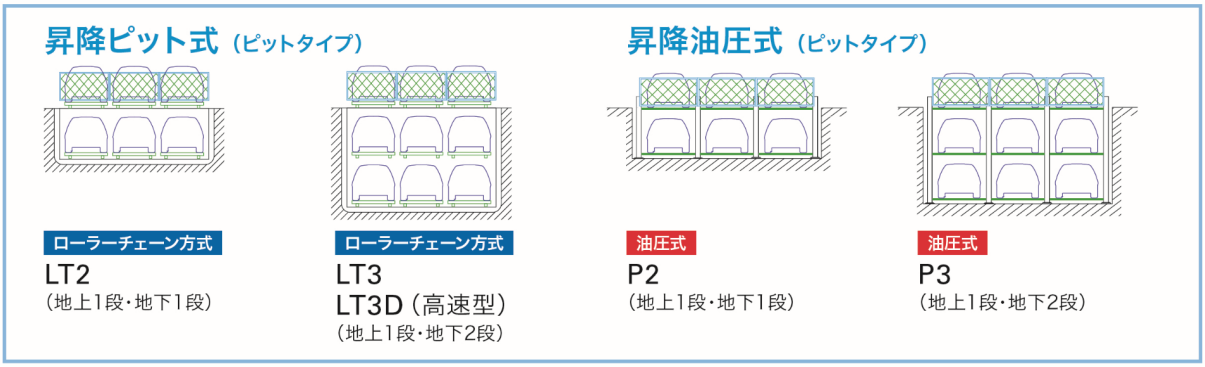
O	M	U
オーナー	管理者	取扱者

2-1 パーキング全体

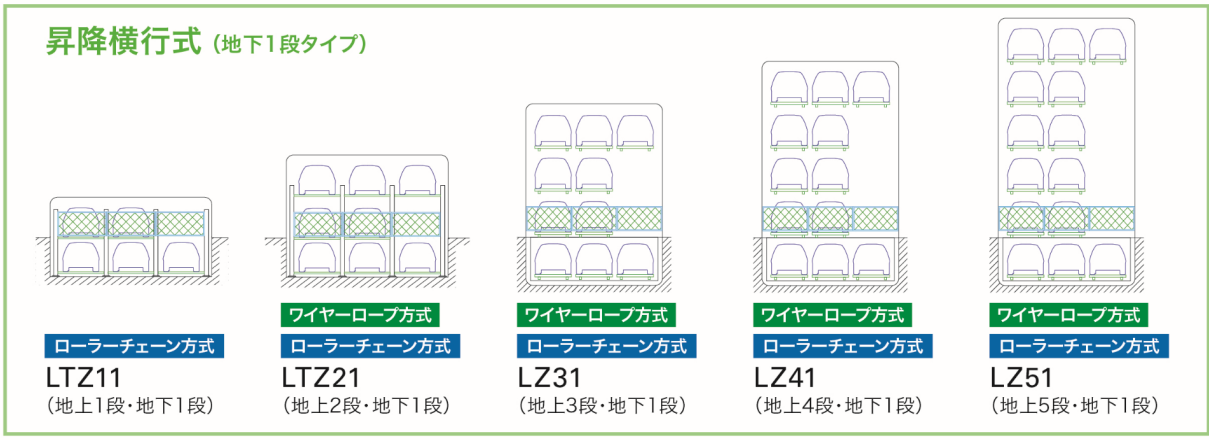
段数、ピットの有無、連数（横方向台数）に違いがありますが、
パーキングには以下の種類があります。

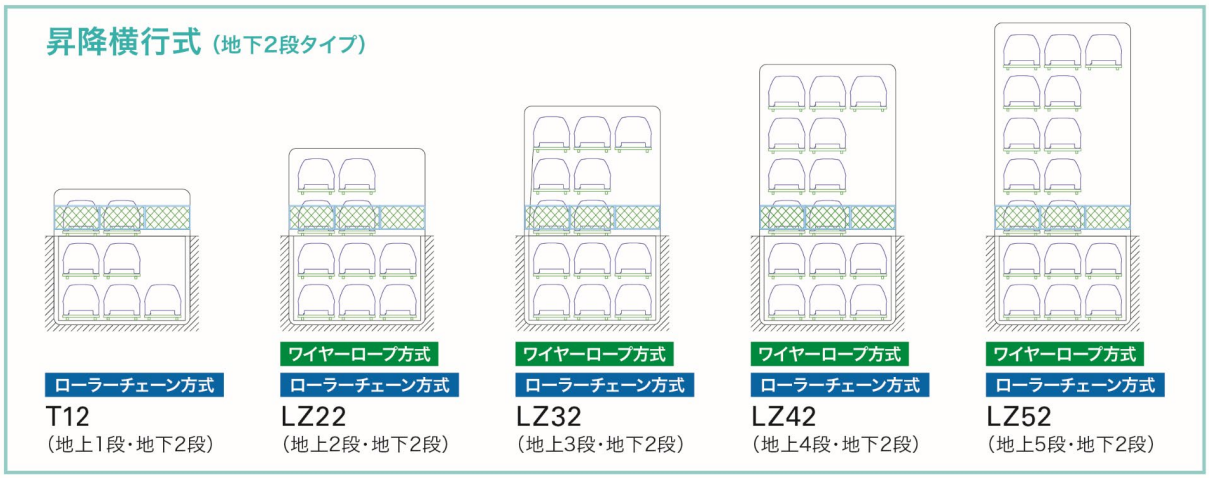
※図は実際と異なる場合があります。

■昇降ピット式（ピット有）
・パレットが上下に移動します。

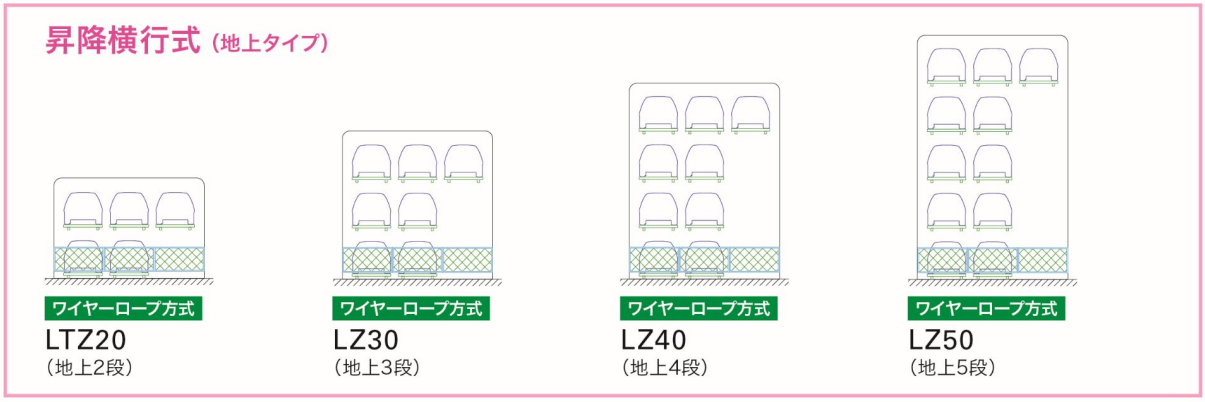


■昇降横行式（ピット有・ピット無）
・パレットが上下に移動します。
・パレットが左右に移動します。

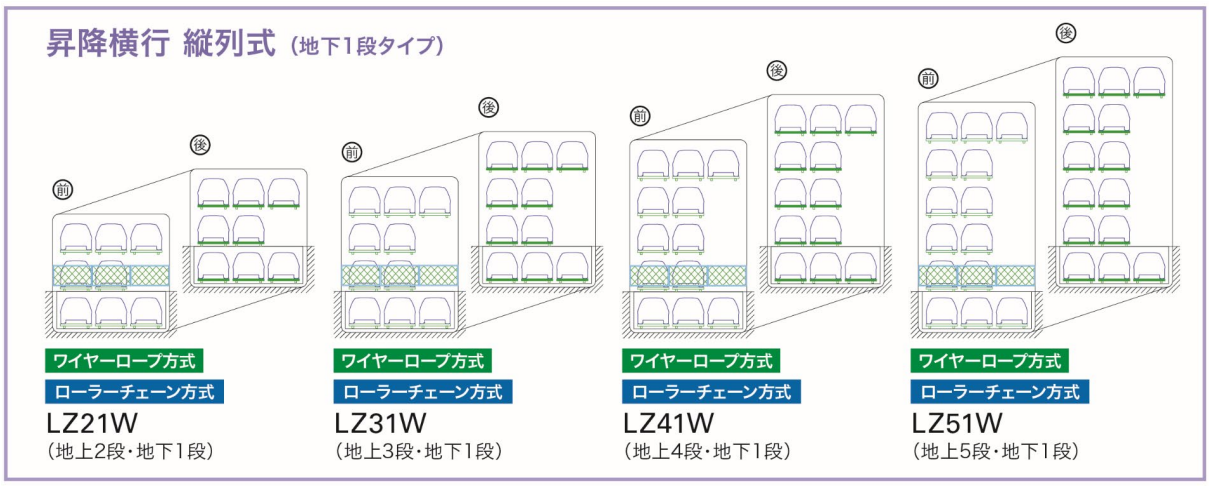


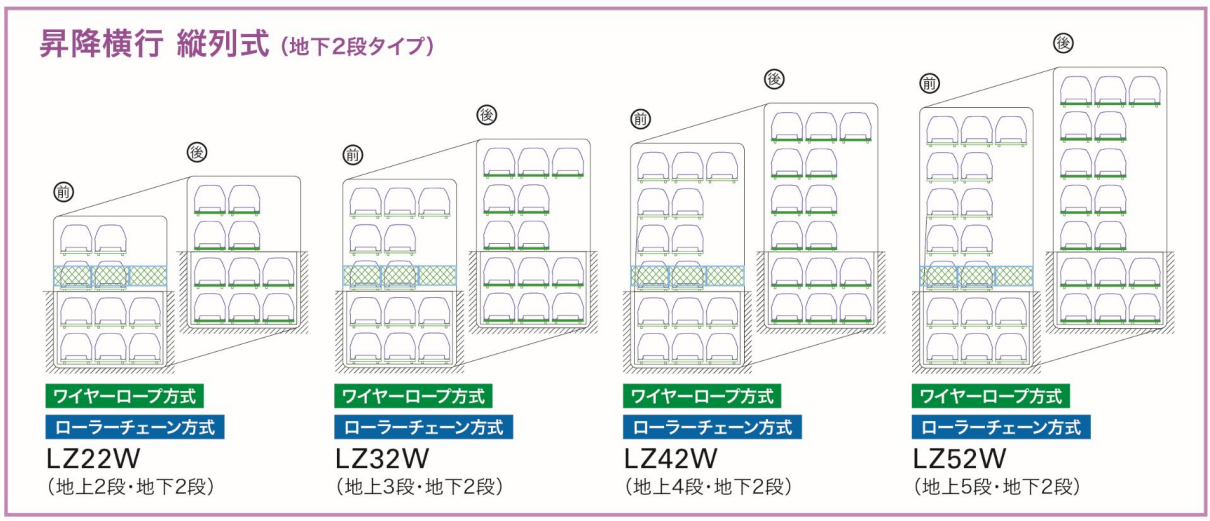


※上図は実際と異なる場合があります。

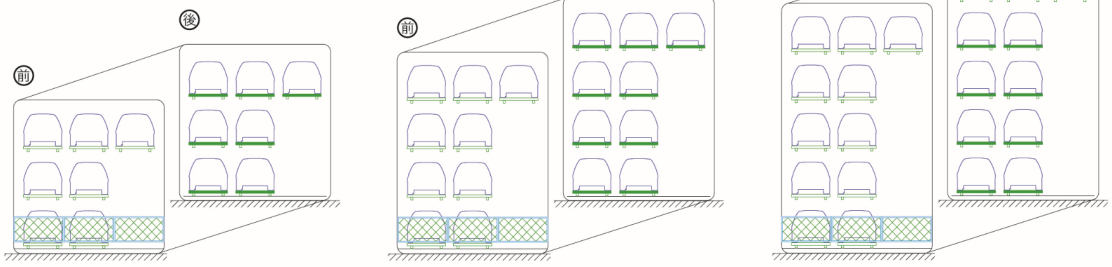


■昇降横行　縦列式（ピット有・ピット無）
- パレットが上下に移動します。
- パレットが左右に移動します。
- 前列側および後列側へ駐車が可能です。





昇降横行 縦列式（地上タイプ）



ワイヤーロープ方式
LZ30W
（地上3段）

ワイヤーロープ方式
LZ40W
（地上4段）

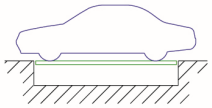
ワイヤーロープ方式
LZ50W
（地上5段）

■ターンテーブル

・乗っている車を方向転換します。

方向転換装置

T.Tターンテーブル
（回転式）

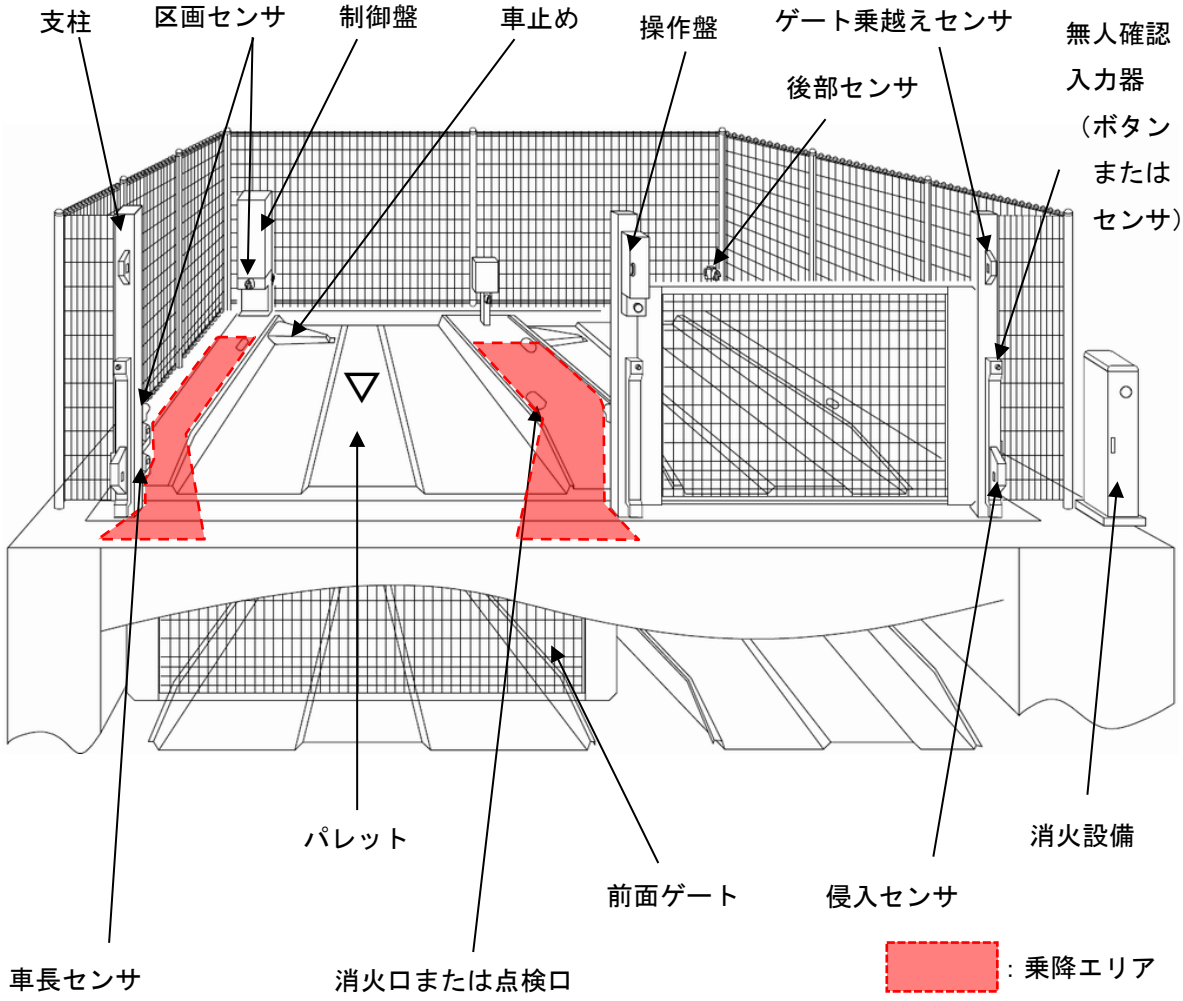


2-2 乗降エリア

O	M	U
オーナー	管理者	取扱者

パーキング内の乗降エリアは、おおむね以下の網掛けの範囲となります。

■昇降ピット式



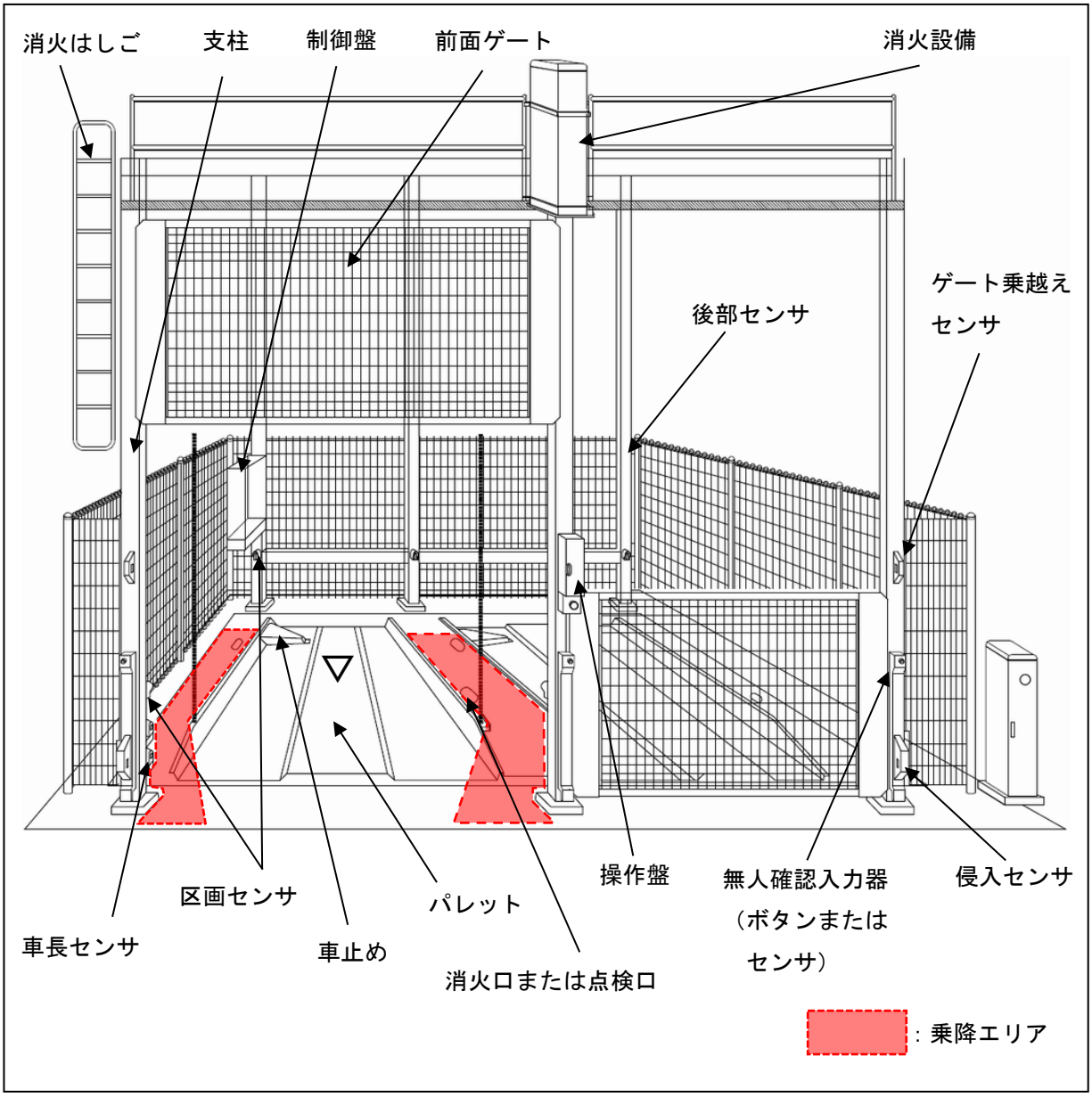
※ 上図の▽印のパレットを使用する場合の乗降エリアとなります。
※ 上図は、実際と異なる場合があります。
※ 前面ゲートには、「門型」と「せり上がり型」の２種類があります（上図はせり上がり型）。
▶「2-4 前面ゲート」を参照してください。
※ 操作盤、制御盤は１つのユニットに複数設けている場合があります。消火設備は設置状況や収容台数によって設けていない場合があります。
※ 消火口または点検口は、機種やパーキングの仕様により、設けていない場合があります。

危　険	
	閉じ込めや機械への挟まれ、転倒、転落により、人身事故のおそれがあります。 ・前面ゲートをくぐったり、またいだり、乗り越えたりしないでください。 ・乗降エリア以外の場所に立ち入らないでください。 ・入出庫後はパーキングからすみやかに退出してください。 ・同乗者の乗降、荷物の積み降ろしなどは、必ずパーキングの外でおこない、ドライバー以外はパーキングへ入らないでください。
	転落や挟まれなどによる人身事故のおそれがあります。 ・消火口、点検口は火災などの緊急時以外は開けないでください。
	物品がパーキングから落下し、利用者や第三者のけがや事故につながります。 ・パーキング内に物を置かないでください。

警　告	
	前面ゲートに挟まれて、けがや事故につながります。 ・前面ゲートや支柱に触ったり、前面ゲート付近に立ち止まらないでください。 ・前面ゲートの隙間から手や足を出さないでください。
	パレットの隙間や段差などで、転倒や挟まれによるけがや事故につながるおそれがあります。 ・足元や頭上に注意して乗降してください。

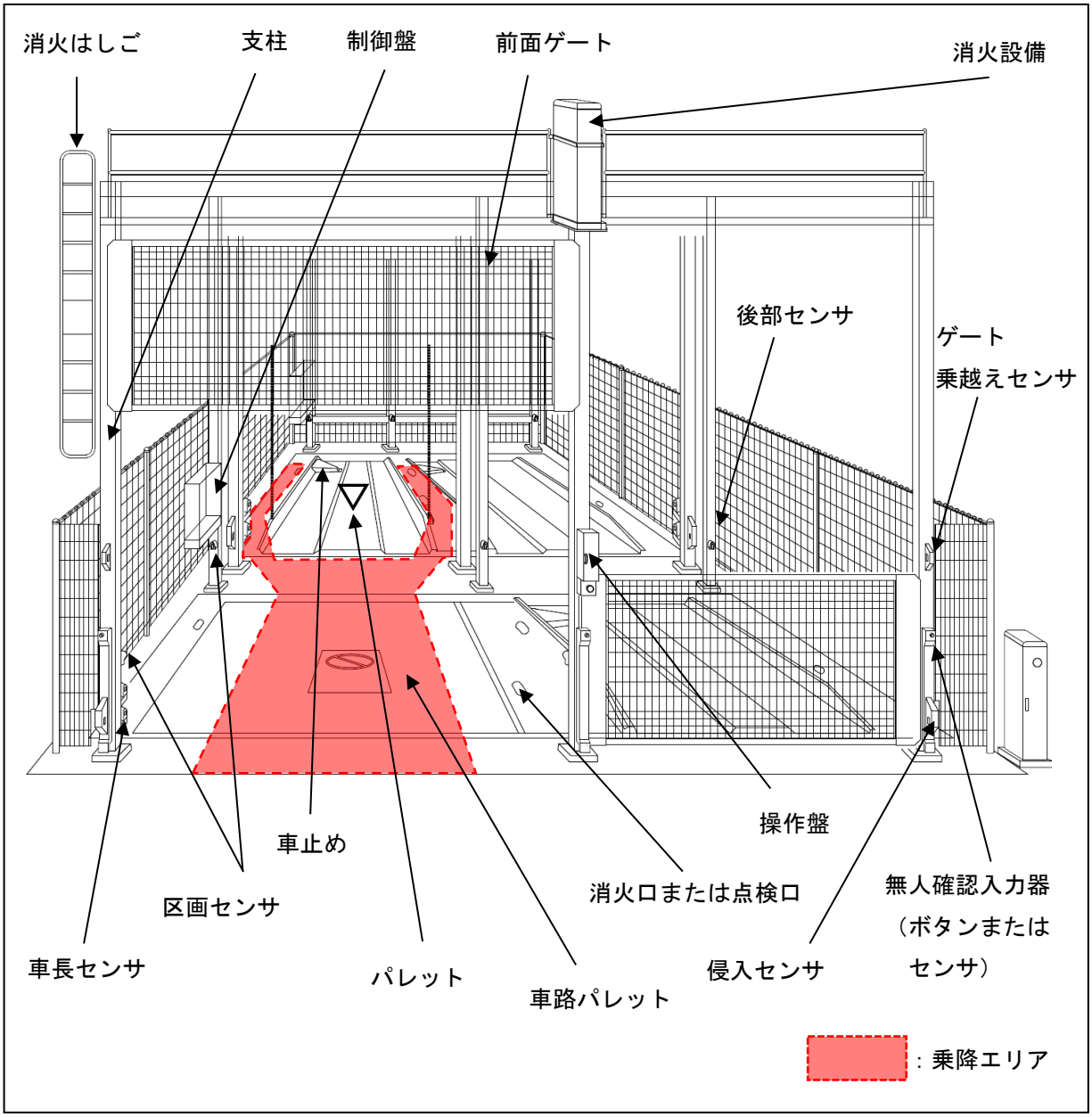
注　意	
	パーキングや車を破損するおそれがあります。 ・決められたパレット以外には駐車しないでください。
	前面ゲートの開閉に支障をきたすおそれがあります。 ・前面ゲート付近に物を置かないでください。

■昇降横行式



※　上図の▽印のパレットを使用する場合の乗降エリアとなります。
※　上図は、実際と異なる場合があります。
※　前面ゲートには、「門型」と「せり上がり型」の２種類があります（上図は門型）。
　▶「2-4 前面ゲート」を参照してください。
※　操作盤、制御盤は１つのユニットに複数設けている場合があります。消火設備は設置状況や収容台数によって設けていない場合があります。
※　消火口または点検口は、機種やパーキングの仕様により、設けていない場合があります。

■昇降横行　縦列式



※　上図の▽印のパレットを使用する場合の乗降エリアとなります。
　（手前側使用時の乗降エリアは▶P10 の「■昇降横行式」と同じとなります。）
※　上図は、実際と異なる場合があります。
※　前面ゲートには、「門型」と「せり上がり型」の 2 種類があります（上図は門型）。
　▶「2-4 前面ゲート」を参照してください。
※　操作盤、制御盤は 1 つのユニットに複数設けている場合があります。消火設備は設置状況や収容台数によって設けていない場合があります。
※　消火口または点検口は、機種やパーキングの仕様により、設けていない場合があります。

⚠ 危　険	
	閉じ込めや機械への挟まれ、転倒、転落により、人身事故のおそれがあります。 ・前面ゲートをくぐったり、またいだり、乗り越えたりしないでください。 ・乗降エリア以外の場所に立ち入らないでください。 ・入出庫後はパーキングからすみやかに退出してください。 ・同乗者の乗降、荷物の積み降ろしなどは、必ずパーキングの外でおこない、ドライバー以外はパーキングへ入らないでください。
	転落や挟まれなどによる人身事故のおそれがあります。 ・消火口、点検口は火災などの緊急時以外は開けないでください。 ・消火口、点検口の蓋が開いたままで使用しないでください。蓋に異常がある場合はメンテナンス会社までご連絡ください。
	転落による人身事故のおそれがあります。 ・消火はしごは火災などの緊急時以外は使用しないでください。
	パレットの隙間や段差などで、転倒や挟まれによるけがや事故につながるおそれがあります。 ・足元や頭上に注意して乗降してください。
	物品がパーキングから落下し、利用者や第三者のけがや事故につながります。 ・パーキング内に物を置かないでください。

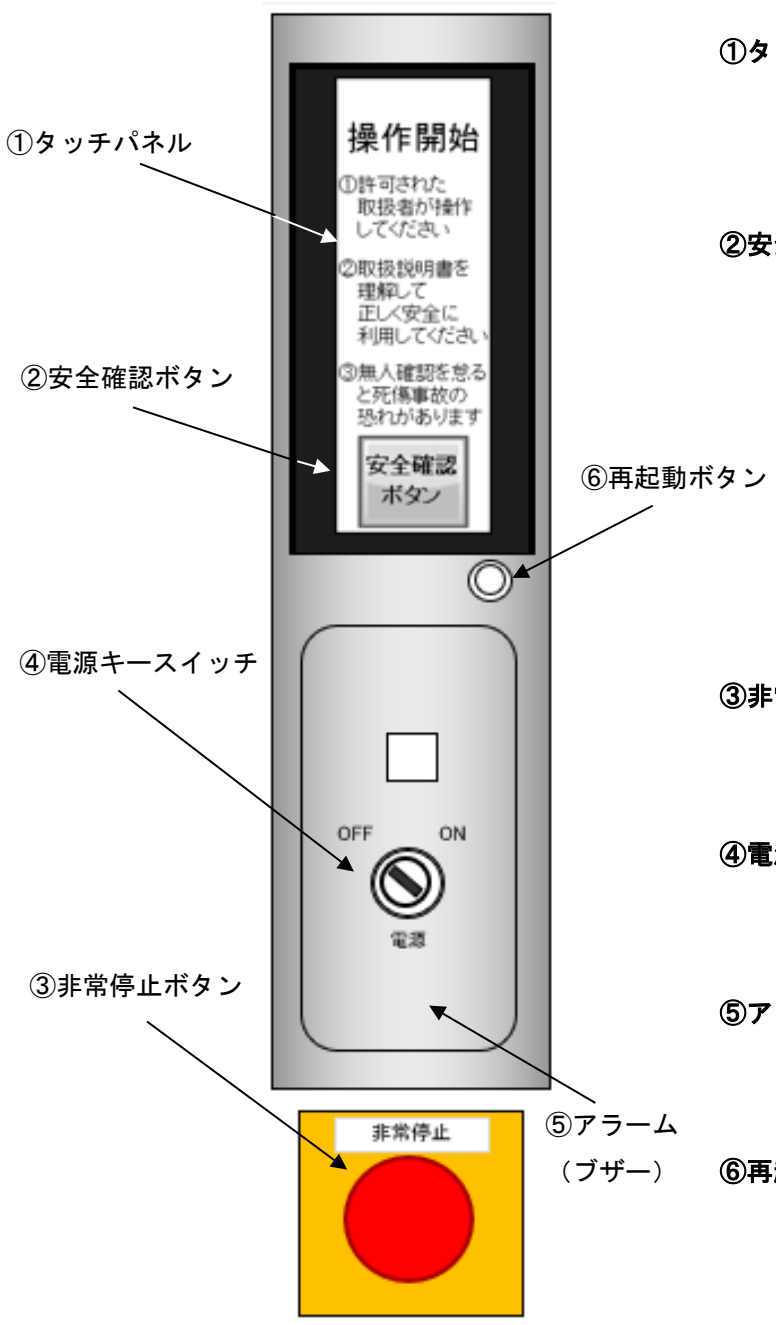
⚠ 警　告	
	前面ゲートに挟まれて、けがや事故につながります。 ・前面ゲートや支柱に触ったり、前面ゲート付近に立ち止まらないでください。 ・前面ゲートの隙間から手や足を出さないでください。

注　意	
	パーキングや車を破損するおそれがあります。 ・パーキング内のコンクリート部分、車路パレットには駐車しないでください。 ・決められたパレット以外には駐車しないでください。
	前面ゲートの開閉に支障をきたすおそれがあります。 ・前面ゲート付近に物を置かないでください。

2-3 操作盤･非常停止ボタン

O	M	U
オーナー	管理者	取扱者

パーキングの主要な操作は、操作盤でおこないます。



①タッチパネル

数字パネルや操作パネルを表示してパーキングを操作したり、メッセージや故障内容を表示します。

②安全確認ボタン

パーキングを作動させる前に、パーキング内および付近に人がいないことを確認した後にタッチします。

各種安全装置が検知した時に、パーキング内に人がいないこと、パーキング周囲が安全であることを確認してから、「安全確認ボタン」をタッチしてください。

※このボタンは取扱者が安全確認を正しくおこなったことを入力するための確認ボタンです。

③非常停止ボタン

非常時にパーキングを停止させるためのボタンです。（自動通報機能はありません。）

④電源キースイッチ

操作盤の電源を入れるための電源スイッチです。操作キーを差し込んで回します。

⑤アラーム（ブザー）

パーキングの作動終了時や、異常発生時などにブザーが鳴ります。

⑥再起動ボタン

タッチパネルの反応が無いときは再起動ボタンを押してください。

※パーキングの作動中には押さないでください。

※　操作方法については、▶「4-2 入出庫操作（タッチパネル式操作盤）」を参照してください。
※　上図は、実際と異なる場合があります。

⚠ 警　告	
	けがや事故につながるおそれがあります。 ・操作盤を操作しないときは、操作盤の扉を閉めてください。

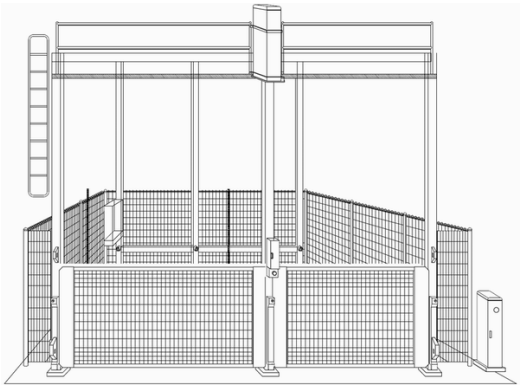
2-4　前面ゲート

O	M	U
オーナー	管理者	取扱者

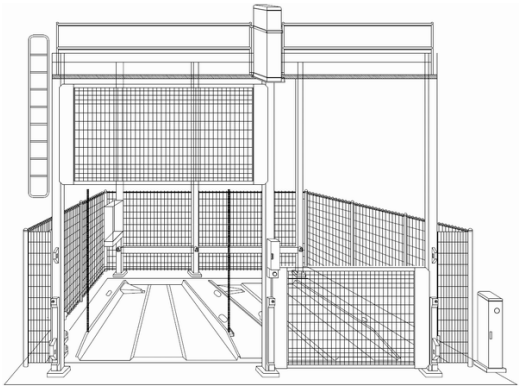
パーキング内への侵入を防ぐため、前面ゲートが設けられています。

■門型

パーキング作動中以外はゲートが下がっています。操作により自動でゲートが昇降し、ゲートが上がると、パーキング内へ進入することができます。



【前面ゲート　下降定位置】
前面ゲートが閉まっている状態



【前面ゲート　上昇定位置】
前面ゲートが開いている状態

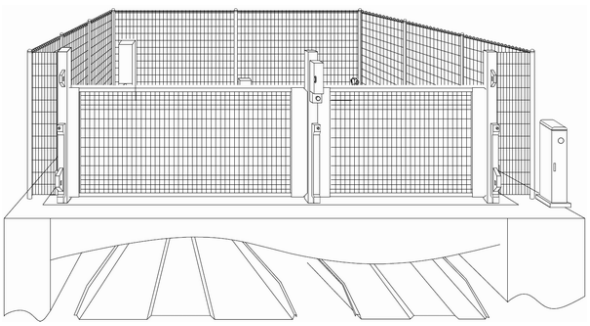
※　上図は、実際と異なる場合があります。

⚠ 危　険	
🚫	前面ゲートに挟まれるなど、人身事故のおそれがあります。 ・パーキング動作中は、同乗する方や第三者が前面ゲートに不用意に近づかないようにしてください。
	前面ゲートに挟まれると、けがや事故につながります。 ・前面ゲート作動中は、前面ゲートや支柱に触らないでください。 ・前面ゲート作動中は、前面ゲート付近に立ち止まらないでください。
	閉じ込めや機械への挟まれにより、人身事故のおそれがあります。 ・前面ゲート作動中にゲートをくぐったり、またいだり、乗り越えたりしないでください。 ・前面ゲートからパーキング内をのぞき込まないでください。

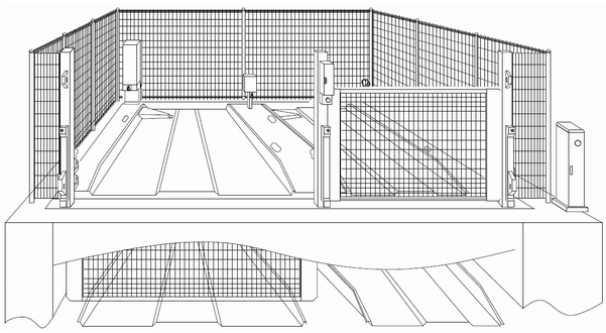
⚠ 警　告	
🚫	前面ゲートが開ききる前に進入すると、パーキングや車を破損するおそれがあります。 ・前面ゲートが定位置で停止するまでは、パーキング内へは進入しないでください。 ・入出庫後は、前面ゲートが完全に閉まっていることを確認してください。
	前面ゲートの開閉に支障をきたすおそれがあります。 ・前面ゲート付近に物を置かないでください。 ・前面ゲート付近の障害物は取り除いてください。

■せり上がり型

パーキング作動中以外はゲートが上がっています。操作により自動でゲートが昇降し、ゲートが下がると、パーキング内へ進入することができます。



【前面ゲート　上昇定位置】
前面ゲートが閉まっている状態



【前面ゲート　下降定位置】
前面ゲートが開いている状態

※　上図は、実際と異なる場合があります。

危　険	
	前面ゲートに挟まれるなど、人身事故のおそれがあります。 ・パーキング作動中は、同乗する方や第三者が前面ゲートに不用意に近づかないようにしてください。
	前面ゲートに挟まれると、けがや事故につながります。 ・前面ゲート作動中は、前面ゲートや支柱に触らないでください。 ・前面ゲート作動中は、前面ゲート付近に立ち止まらないでください。
	閉じ込めや機械への挟まれにより、人身事故のおそれがあります。 ・前面ゲート作動中にゲートをまたいだり、乗り越えたりしないでください。 ・前面ゲートからパーキング内をのぞき込まないでください。

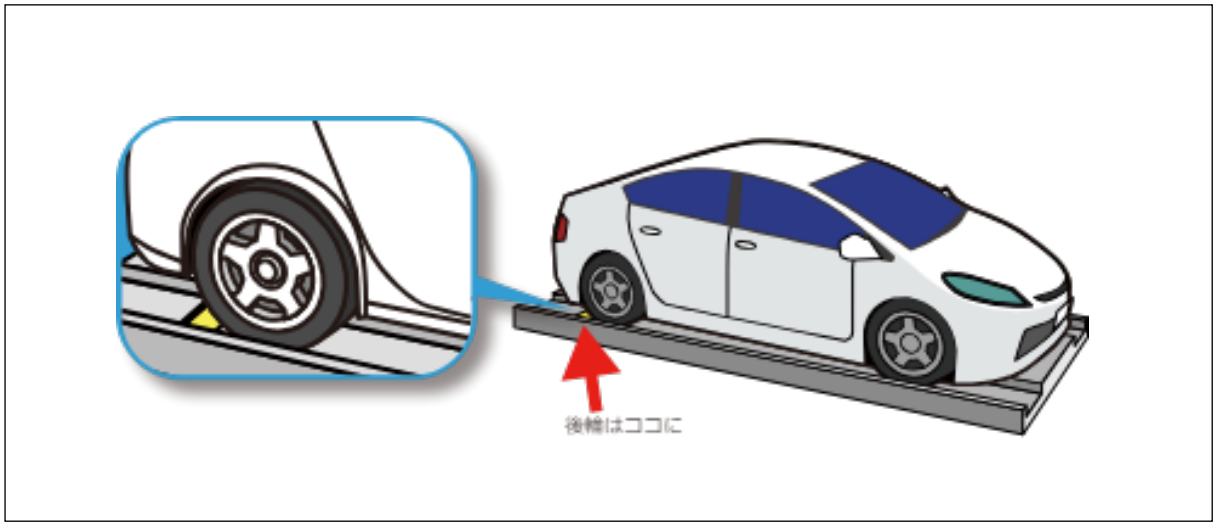
警　告	
	前面ゲートが開ききる前に進入すると、パーキングや車を破損するおそれがあります。 ・前面ゲートが定位置で停止するまでは、パーキング内へは進入しないでください。 ・入出庫後は、前面ゲートが完全に閉まっていることを確認してください。
	前面ゲートの開閉に支障をきたすおそれがあります。 ・前面ゲート付近に物を置かないでください。 ・前面ゲート付近の障害物は取り除いてください。

O	M	U
オーナー	管理者	取扱者

2-5 車止め

バックで入庫してください（後進入庫）

パレットの後部に、車止めがあります。
車止めは、入庫時の停車位置の目安として設けています。



※　上図は、実際と異なる場合があります。
※　入庫時は、後輪が車止めにあたるまでバックしてください。

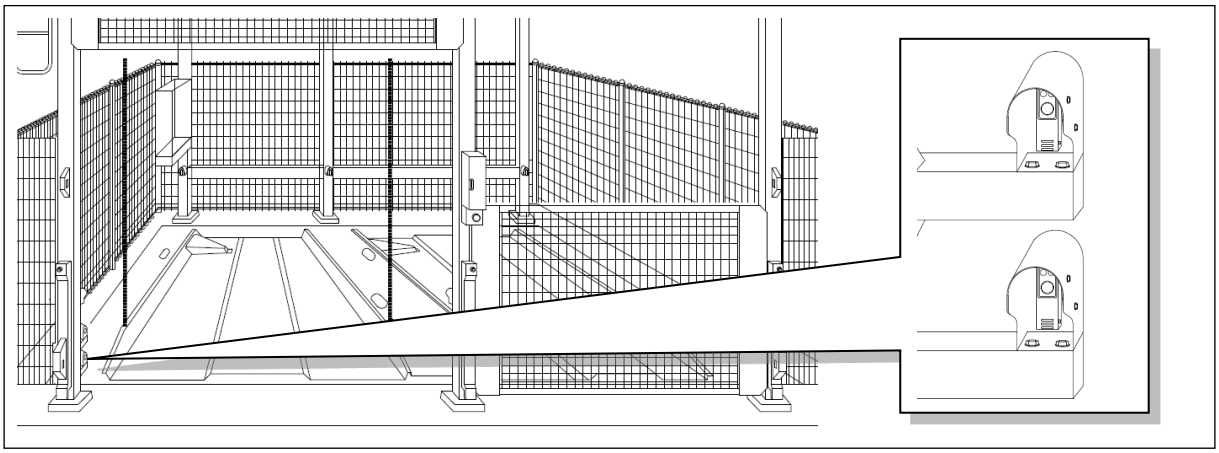
	・全長が入庫可能寸法以内であっても、車止めの位置により、一部の車両は収容できない場合があります。（車止めの移動が必要となりますので、管理者に連絡してください。） ▶「3-1 入庫車に関する安全重要項目」を参照してください。

2-6　センサ･無人確認入力器

O	M	U
オーナー	管理者	取扱者

2-6-1　車長センサ

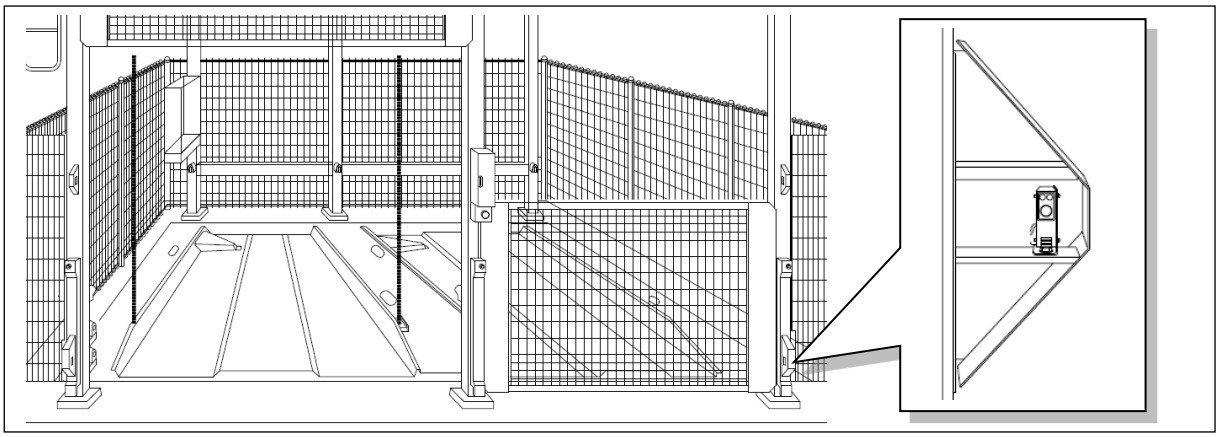
支柱下部のパレットの前側には、車長センサが設置されています。車長センサは、パレットからのはみ出しを検知するためのセンサです。



※　上図は、実際と異なる場合があります。
※　車長センサが障害物を検知すると、タッチパネルに［車長検知センサ検知］と表示され、30 秒後にアラームが鳴ります。［車長センサ検知］の表示中は操作ができません。
※　センサは補助設備です。目視で安全を確認してください。
※　車長センサは視認強化のために LED 赤色光です。人体への影響はありませんが、のぞき込まないようにしてください。

2-6-2　侵入センサ

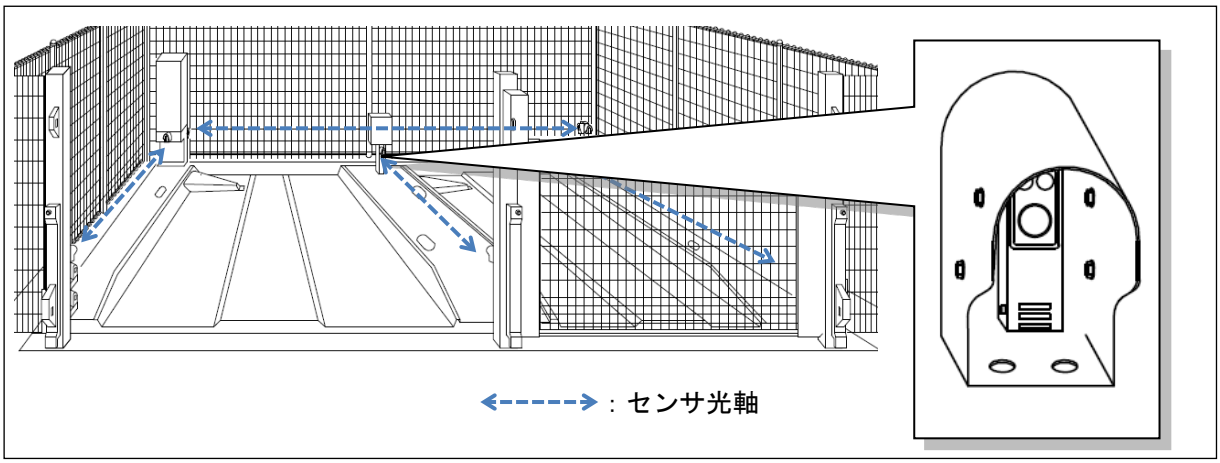
支柱下部の前面ゲートの前側には、侵入センサが設置されています。侵入センサは、ゲート作動中の人の侵入を検知し、ゲートを停止するためのセンサです。



※　上図は、実際と異なる場合があります。
※　侵入センサが人や障害物を検知すると、タッチパネルに［侵入センサ検知］表示され、同時にアラームが鳴ります。また、ゲート作動中に侵入センサが人や障害物を検知すると、ゲートの作動が停止します。なお、［侵入センサ検知］の表示中は操作ができません。
※　センサは補助設備です。また、ゲート開作動開始から 3～6 秒経過以降は、侵入センサは検知しません。目視でパーキング内および付近に人がいないことを確認してください。

2-6-3　区画センサ･後部センサ

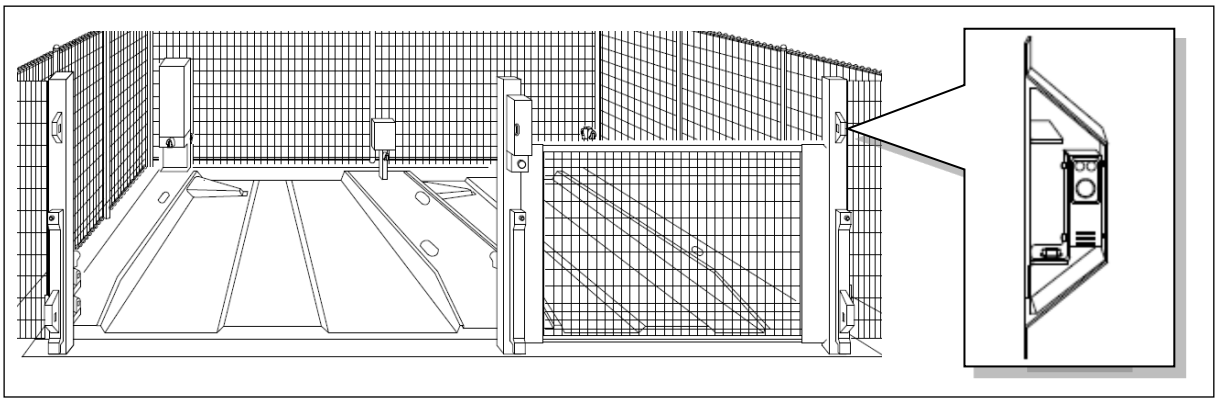
各支柱の前後間および左右間に、区画センサ・後部センサが設置されています。区画センサ・後部センサは、パーキング内の乗降エリア周辺の人の侵入や障害物を検知するためのセンサです。



※　上図は、実際と異なる場合があります。
※　区画センサが人や障害物を検知すると、タッチパネルに［区画センサ検知］と表示されます。また［区画センサ検知］の表示中は操作ができません。
※　後部センサが人や障害物を検知すると、タッチパネルに［装置内の安全センサが検知］または、［後部センサ検知］と表示されます。また、［装置内の安全センサが検知］および［後部センサ検知］表示中は操作ができません。
※　センサは補助設備です。目視でパーキング内および付近に人がいないことを確認してください。
※　区画センサ・後部センサは視認強化のために LED 赤色光です。人体への影響はありませんが、のぞき込まないようにしてください。

2-6-4　ゲート乗越えセンサ

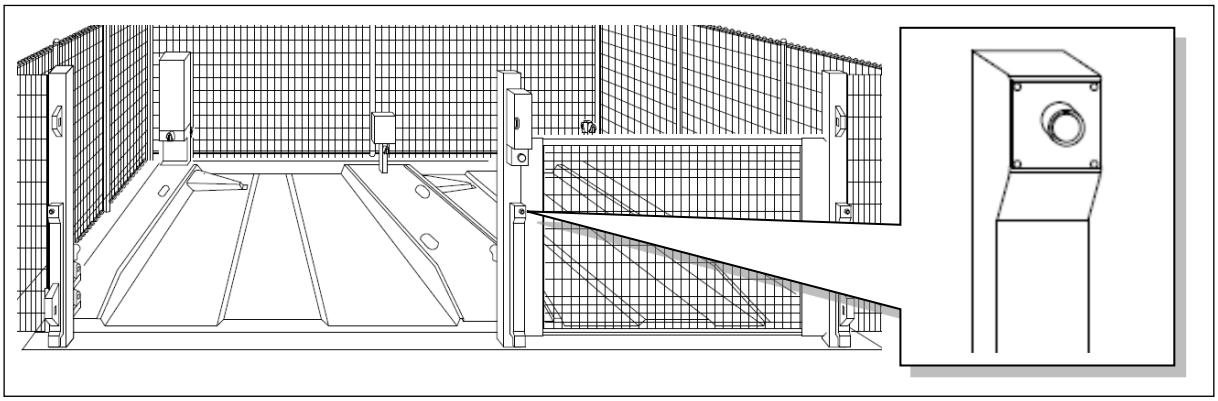
支柱上部の前面ゲートの前側に、ゲート乗越えセンサが設置されています。ゲート乗越えセンサは、ゲートの上からの乗越えを検知するためのセンサです。



※　上図は、実際と異なる場合があります。
※　ゲート乗越えセンサが人や障害物を検知すると、タッチパネルに［ゲート乗越えセンサ検知］または「装置内の安全センサが検知しました」と表示され、同時にアラームが鳴ります。［ゲート乗越え検知センサ検知］表示中は操作ができません。
※　センサは補助設備です。目視でパーキング内および付近に人がいないことを確認してください。

2-6-5 無人確認入力器

各支柱の前側に、無人確認入力器（ボタンまたはセンサ）が設置されています。無人確認ボタンは、乗降エリアに人がいないことを確認した後に押します。（センサの場合は手をかざしてください）また、該当乗降エリア以外の区画センサが検知した場合は、その区画に人がいないことを目視確認してから、その区画の無人確認ボタンを押してください。（センサの場合は手をかざしてください）



	機種やパーキングの仕様によっては、上記以外のセンサが設置されている場合がありますが、センサは補助設備となります。必ず目視でパーキング内および付近に人がいないことを確認して使用してください。

危　険

人身事故のおそれがあります。

・センサの範囲外では、センサは検知しません。必ず目視でパーキング内および付近に人がいないことを確認してください。

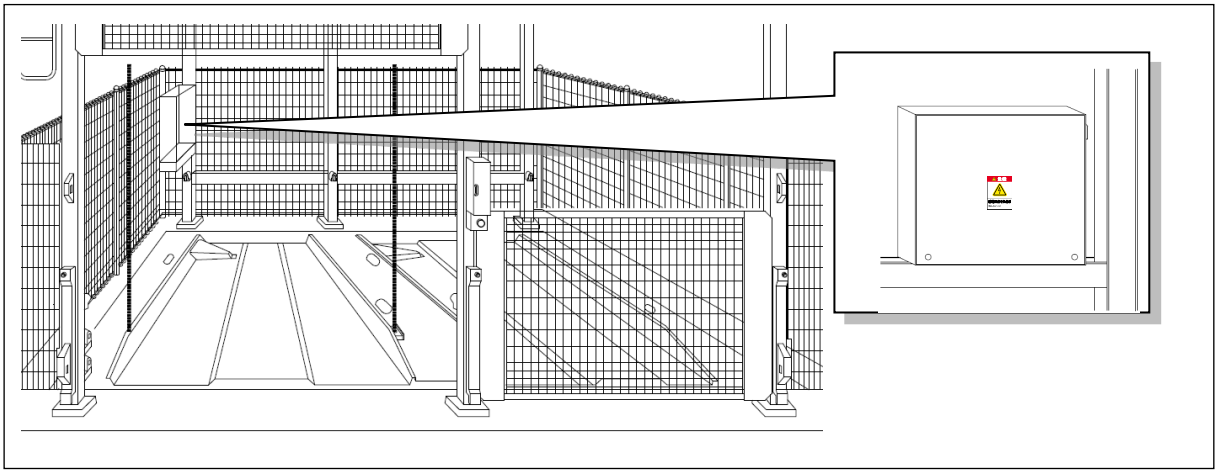
・前面ゲートや支柱に触らないでください。

・ゲート付近に立ち止まらないでください。

2-7 制御盤

O	M	U
オーナー	管理者	取扱者

パーキングの電気関連機器がおさめられています。



※ 上図は、実際と異なる場合があります。

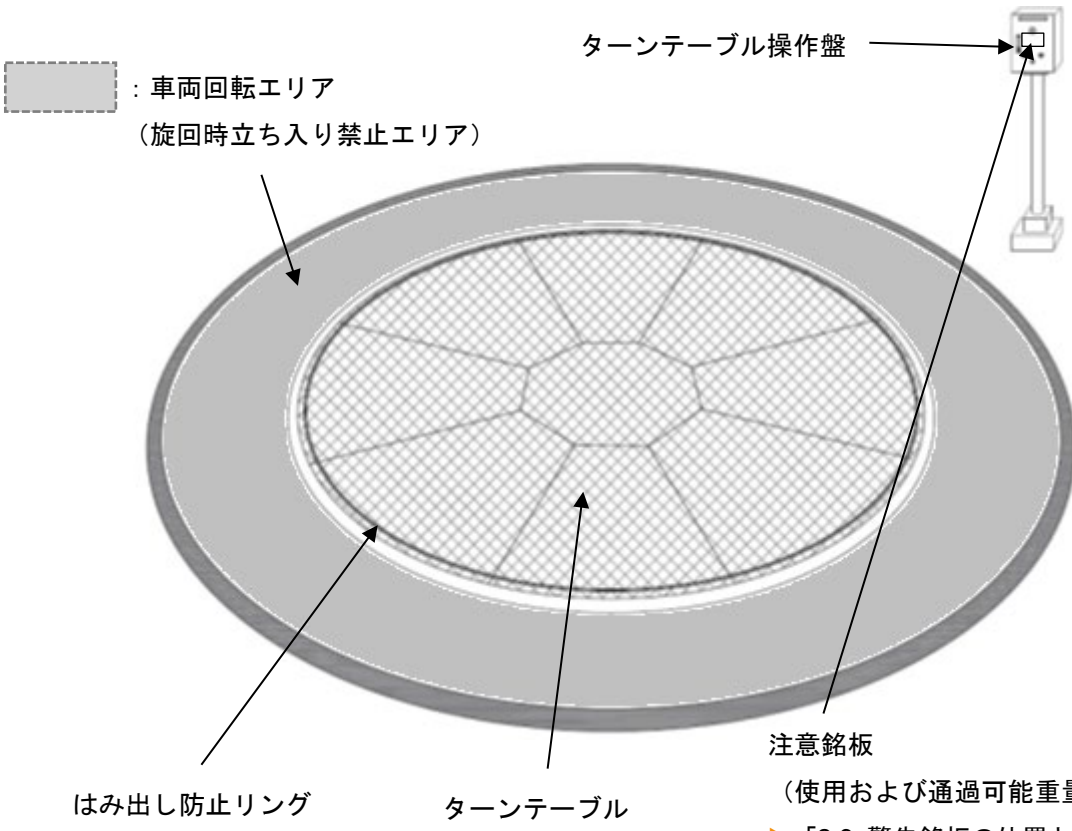
危　険	
	高電圧部分があり、感電のおそれがあります。 ・制御盤の扉を開けないでください。
	管理者は、制御盤の施錠を確認し、カギを適切に管理してください。

2-8 ターンテーブル（オプション）

O	M	U
オーナー	管理者	取扱者

パーキングの出入り口周辺などに設置され、車の向きを変えて入出庫を容易にします。

▶「4-4 ターンテーブルの操作」を参照してください。



▶「2-9 警告銘板の位置と内容について」を参照してください。

※　上図は、実際と異なる場合があります。

⚠ 危　険	
🚫	ターンテーブル旋回中は、車と壁や構造物の間に挟まれたり、転倒するなど、人身事故のおそれがあります。 ・車からの乗降中には、ターンテーブルを操作しないでください。 ・人が車に乗車している状態での旋回はしないでください。 ・旋回中にターンテーブルに乗ったり、車両回転エリア内に入らないでください。
	ターンテーブルに、車以外の物を置くと、障害物となり、けがや事故につながるおそれがあります。 ・車両回転エリア内に物を置かないでください。
	ターンテーブル上は滑りやすく、段差があるため、転倒によるけがや事故につながるおそれがあります。 ・足元に注意して乗降、歩行してください。

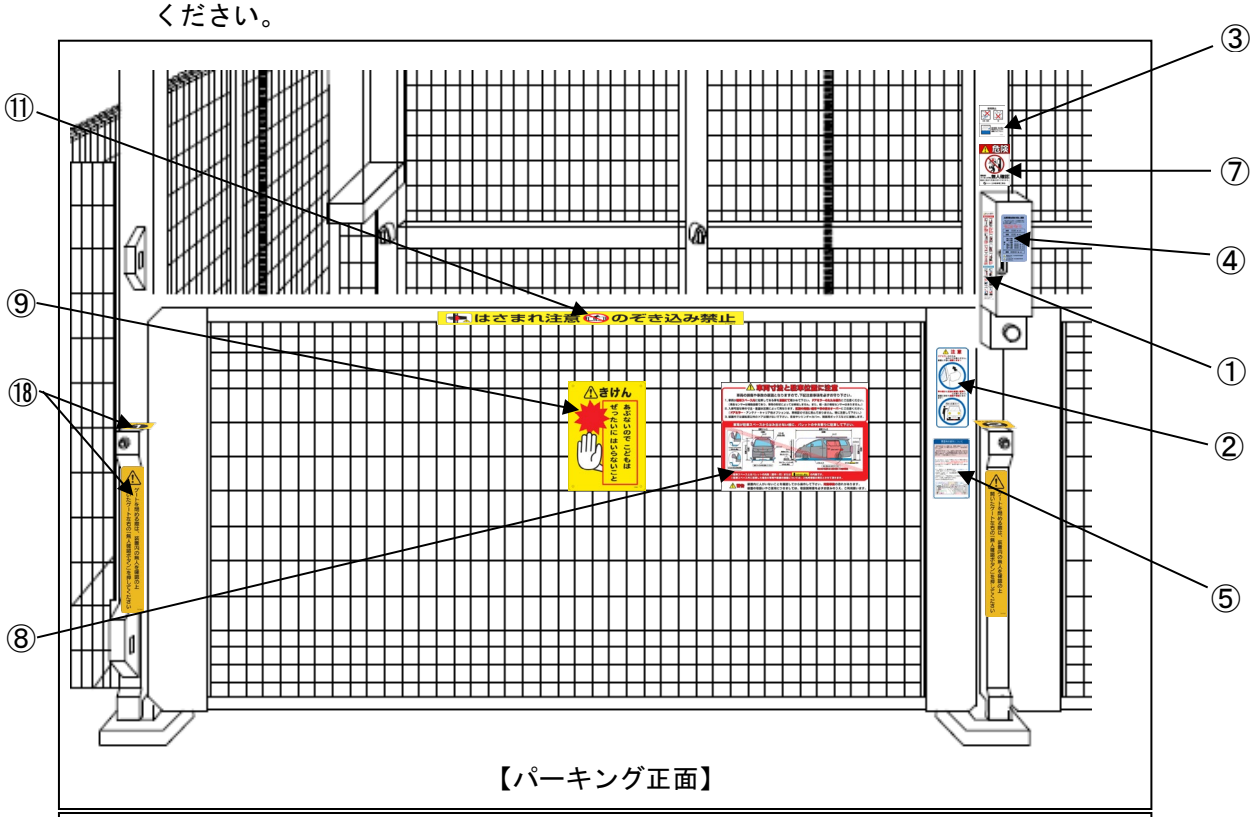
注 意	
	パーキングや関連機器、車などに破損や故障を引き起こすおそれがあります。 ・使用および通過可能重量表示を超える重量の車、二輪車、改造車は使用しないでください。 ・使用および通過可能重量表示を超える重量の車、二輪車、改造車はターンテーブルの上を走行しないでください。 ・管理者の許可を受けた車以外は、使用しないでください。

2-9 警告銘板の位置と内容について

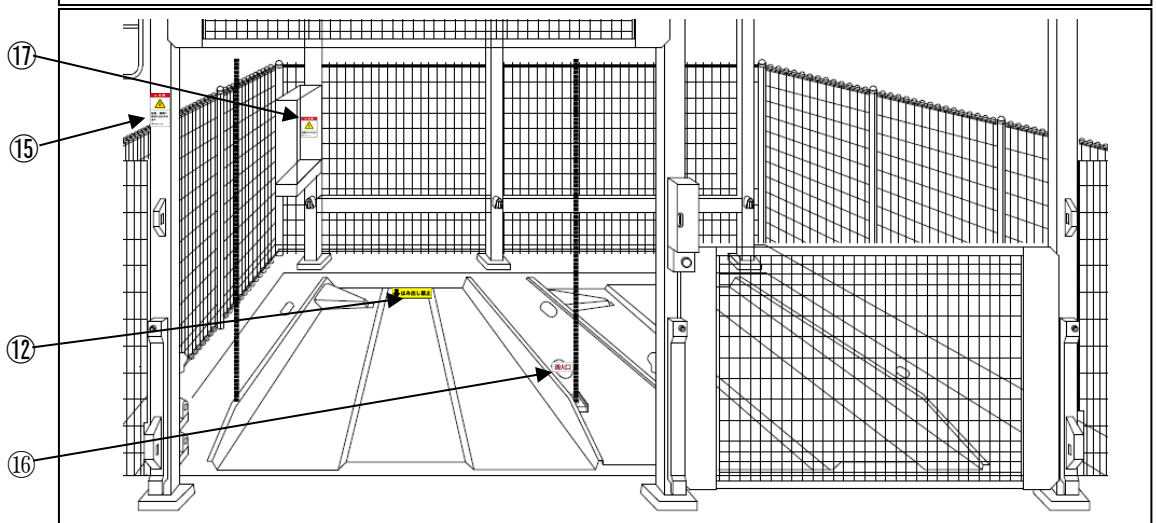
O	M	U
オーナー	管理者	取扱者

パーキングの警告銘板には、潜在的なリスクおよび対処策が記載されています。警告銘板の記載内容が守られない場合に起こった事故に関しては、当社は責任を負いません。

パーキングに使用されている銘板には、以下のものがあります。銘板の記載内容を守ってください。

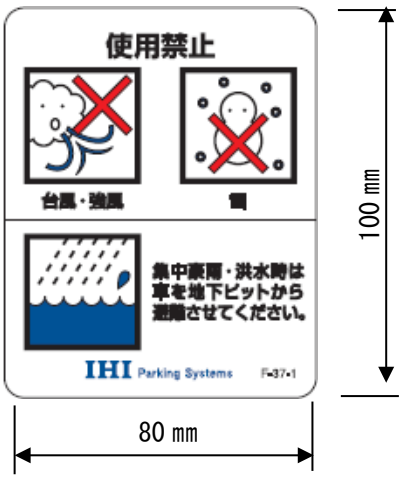


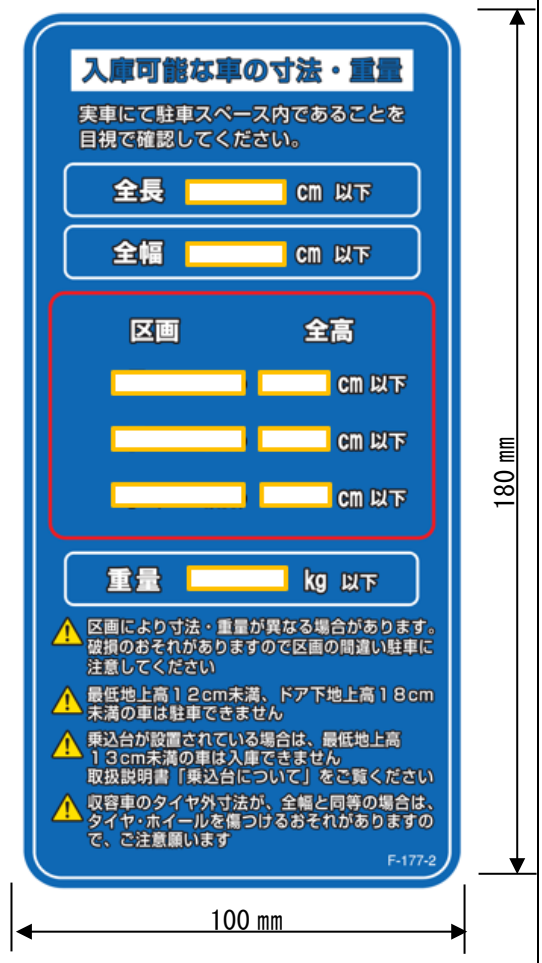
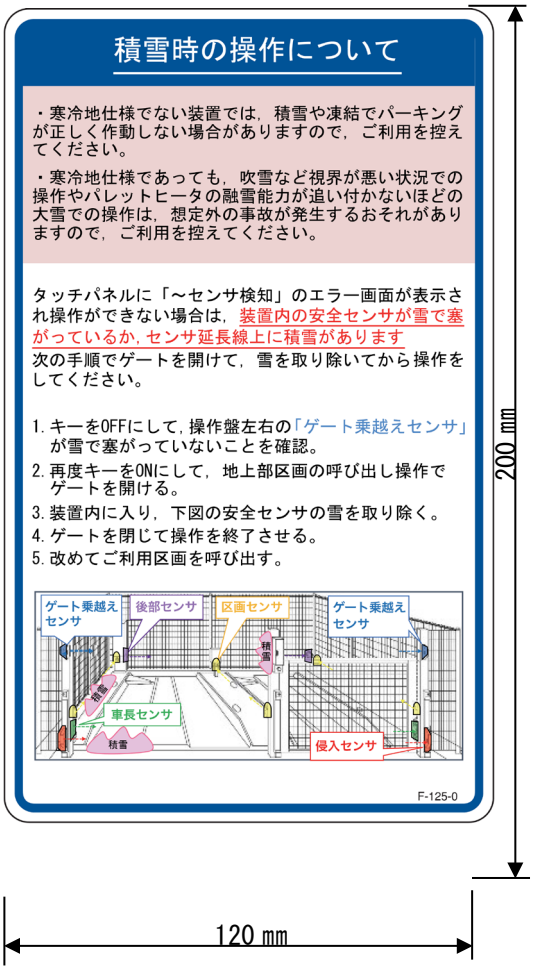
【パーキング正面】

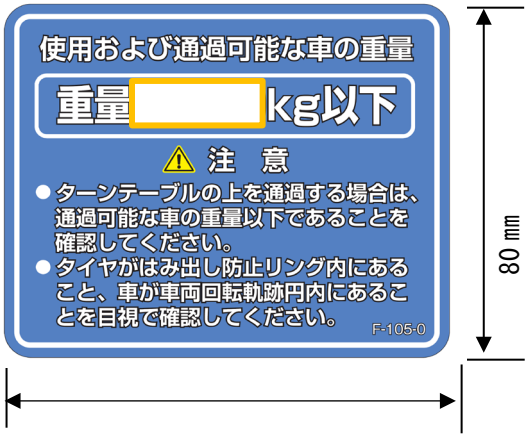


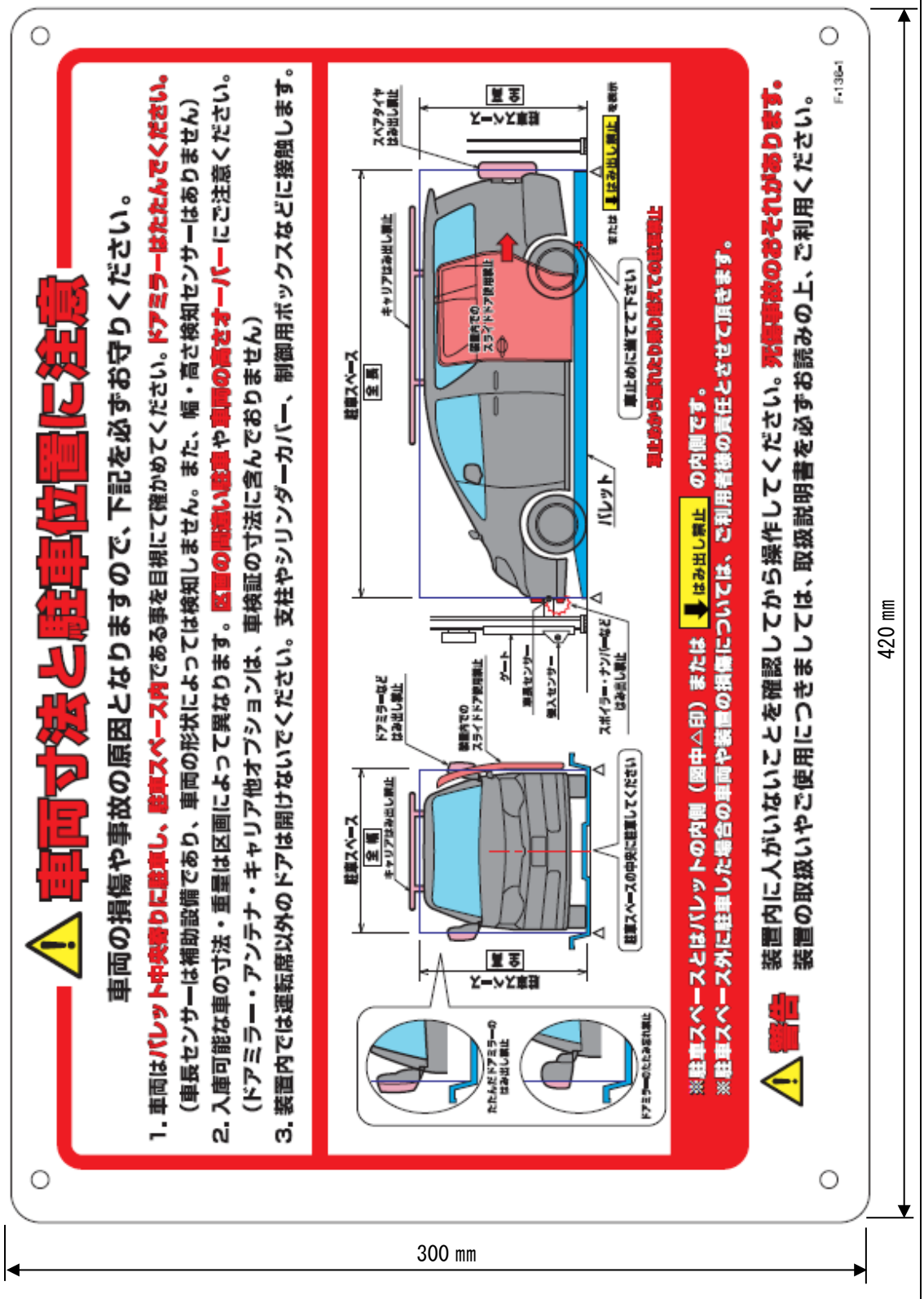
【パーキング内】

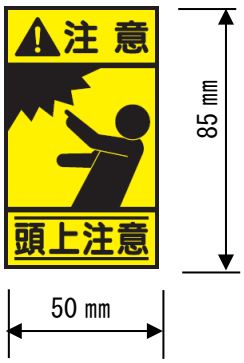
※　上図は、実際と異なる場合があります。
※　位置を示すために、一部誇張しております。(各銘板については次ページ以降を確認してください。)

NO.	① 使用上の禁止事項	② ドアミラーと車高についての注意
銘板		
		③ 台風・強風・積雪時の使用禁止
		 ※設置地域などにより内容が異なります。

NO.	④ 入庫可能な車の寸法・重量	⑤ 積雪時の操作について
銘板		

NO.	⑥ 通過可能な車の重量	⑦ 無人確認の厳守
銘板	 ※ターンテーブルのみに設置します。	

NO.	⑧　駐車スペースに関する注意
銘板	

NO	⑨　立入禁止	⑩　頭上注意（図）
銘板		
NO.	⑪　ゲートのはさまれ・のぞき込み禁止	
銘板		
NO.	⑫　車のはみ出し禁止	⑬　頭上注意（文字）
銘板		
NO.	⑭　車路パレットの駐車禁止	⑮　消火はしごの昇降禁止
銘板	 昇降横行　縦列式（ピット有）のみ設置します。	

NO.	⑯ 消火口	⑰ 感電注意
銘板		

NO.	⑱ 無人確認喚起および無人確認ボタン区画番号	
銘板		

⚠ 警　告

⊘	警告銘板の記載内容を守らないと、けがや事故につながるおそれがあります。また、警告銘板の記載内容が守られない場合に起こった事故に関しては、当社は責任を負いません。 ・取扱者は、パーキングを使用する前に、銘板の貼り付け位置と記載内容をよくお読みの上、その意味を十分理解してから操作をおこなってください。
❗	・定期的に清掃し、警告銘板がはっきりと読み取れるようにしてください。 ▶「5-1 日常の点検」を参照してください。 ・警告銘板がはがれたり、汚損した場合は、すみやかに管理者にご連絡ください。

なお、デザインなどの仕様をお断りなしに変更させていただく場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

3.入庫の条件

O	M	U
オーナー	管理者	取扱者

3-1　入庫車に関する安全重要項目

3-1-1　入庫可能な車の寸法･重量

入庫可能な車の寸法・重量はパーキングに設置の警告銘板にてご確認してください。

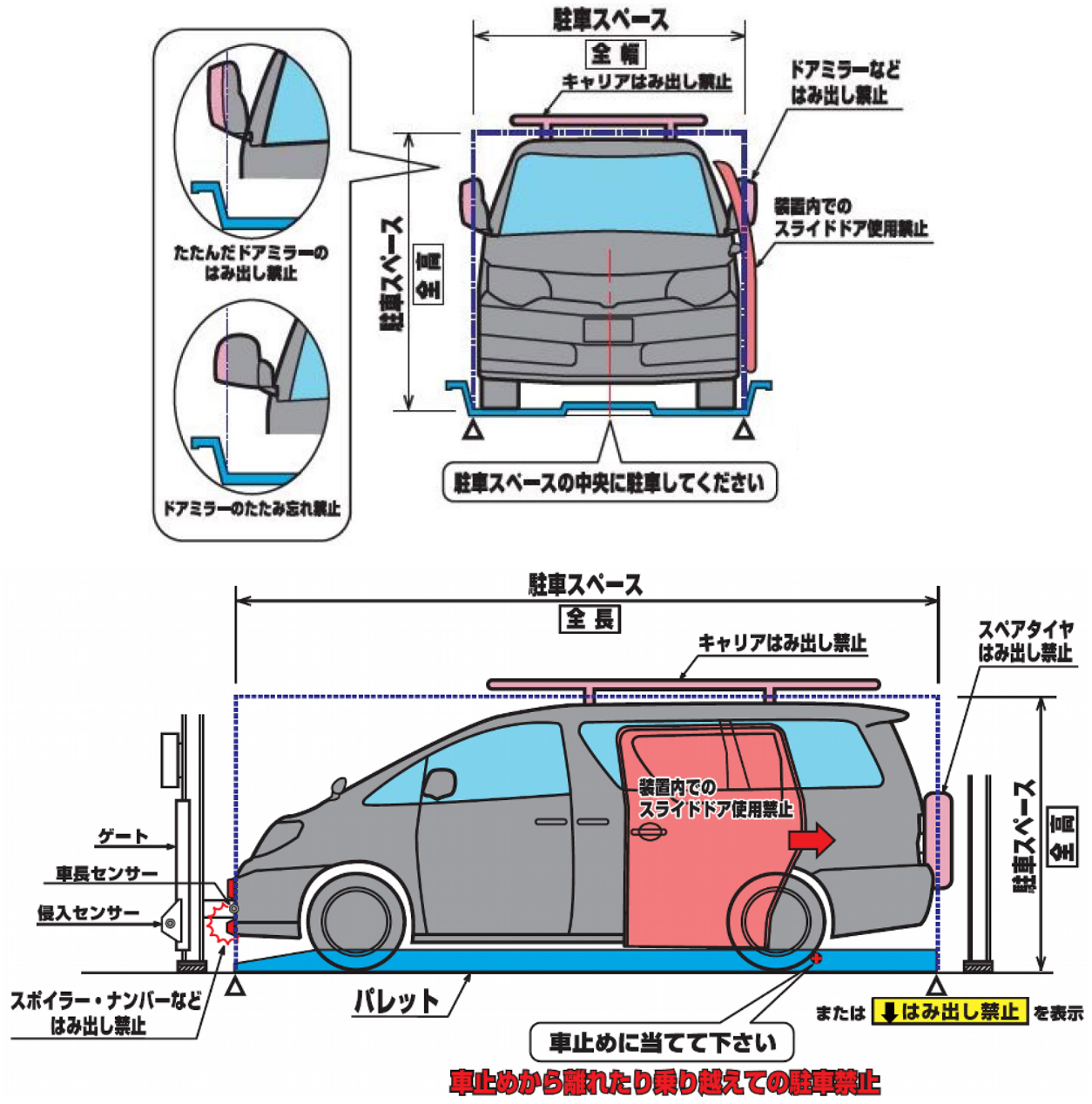
▶「2-9 警告銘板の位置と内容について④」を参照してください。

注 意	
	パーキングや関連機器、車などに破損や故障を引き起こすおそれがあります。 ・入庫条件を満たさない車、および乗用以外の車、トラック、四輪以外の車、改造車は入庫しないでください。 ・最低地上高が 12cm 未満の車は入庫しないでください。 ・乗込台が設置されているパーキングについては最低地上高が 13cm 未満の車は入庫しないでください。13cm 以上の車でも車の形状等により接触するおそれがあるので注意してください。 最低地上高の詳細は「3-1-3 乗込台について」を参照してください。 ・車止めを乗り越えると、機械と接触するおそれがあります。 ・跳ね上げ式等、ドア形状が特殊な車は、入庫しないでください。 ・管理者の許可を受けた車以外は、入庫しないでください。
	車の全長・全幅・全高・車両重量は、車検証を参考に実車にて確認してください。 ・車検証の長さ・幅・高さに関しては、記載されている寸法に対し若干の製作誤差が認められており、車検証で確認した車の寸法が入庫可能範囲であっても入庫できない場合があります。実車にて確認してください。 ・重量は、車両重量にオプション重量、および積荷の重量を加えたものです。
	パーキングや関連機器、車などに破損や故障を引き起こすおそれがあります。 ・車を買い替えた際には、管理者にご連絡ください。また、車の登録が必要な場合は、事前に登録してください。 ・パーキングが建物内に設置の場合、上部の障害物に十分注意してください。
	全長が入庫可能寸法以内であっても、車止めの位置により、一部の車が収容できません。 ・車止めの移動が必要となりますので、管理者に連絡してください。

	・ドアの最低地上高が 18cm 未満の車はパレットの立ち上がりと干渉しドアが開かない場合があります。
	・収容車のタイヤ外寸法が、全幅と同等の場合は、タイヤ・ホイールを傷つけるおそれがありますので、ご注意願います。
	・車止めに当たらないよう排気マフラーの高さに注意しながらゆっくり入庫して下さい。

3-1-2 駐車スペースについて

駐車スペースとはパレットの内側（下図△印）または「はみ出し禁止」表示の内側です。



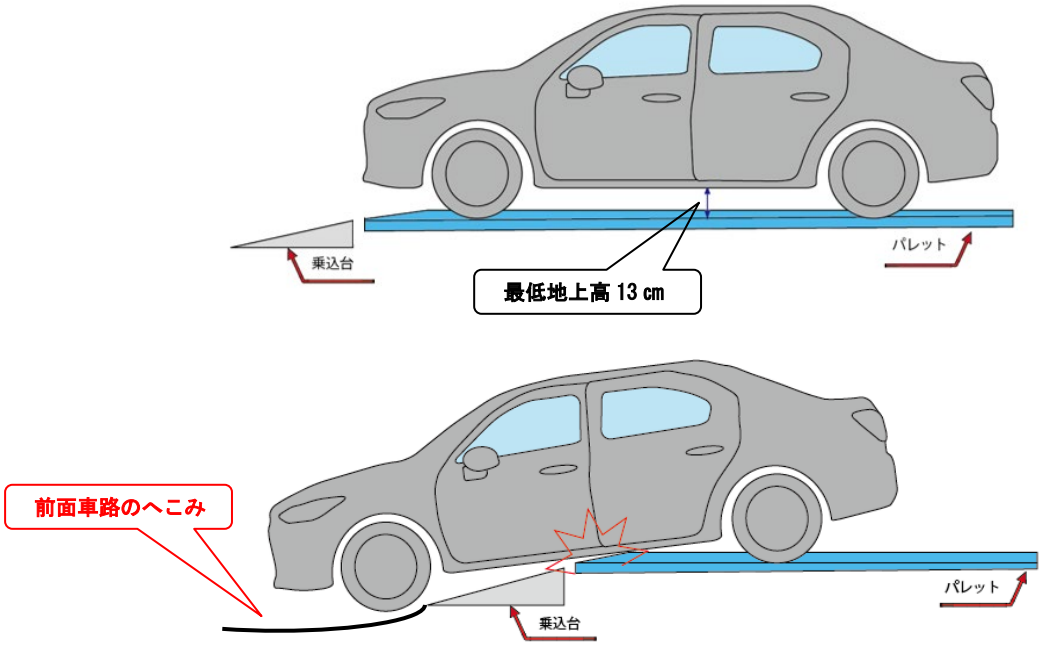
注 意	
	パーキングや関連機器、車などに破損や故障を引き起こすおそれがあります。 ・入庫時はパレット中央寄りに駐車し、車が駐車スペース内にあることを目視で確認してください。 ・駐車スペース外に駐車した場合の車やパーキングの損傷については、取扱者の責任となります。

3-1-3 乗込台について

乗込台とは一部のパーキングに設置されているパレット前の段差プレートです。

乗込台が設置されているパーキングについては、車のボディ下がパレット先端に接触する場合がありますので、最低地上高が 13cm 未満の車は入庫しないでください。最低地上高が 13cm 以上でも、車の形状（広いホイールベースなど）により接触する場合がありますので、目視での確認をお願いします。

	・最低地上高とは、車のボディ下の樹脂部品（アンダーカバー、エアロパーツなど）を含む最も低い部分となります。メーカー諸元表の数値は、樹脂部品を含んでいません。



なお、前面車路の形状（リニューアル工事での経年によるアスファルトの沈下やパーキングの基礎とアスファルトの段差、1/100 以上の勾配など）の影響で、最低地上高が 13cm 以上の車であっても接触する場合がありますので、注意しながらゆっくり入庫してください。

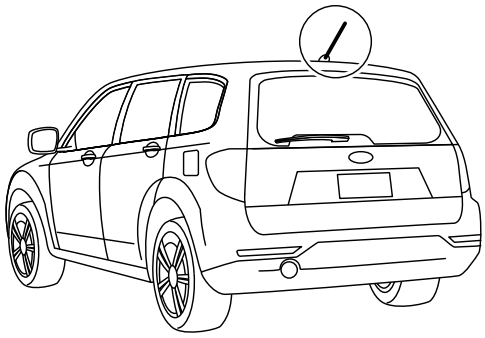
注 意	
	パーキングや関連機器、車などに破損や故障を引き起こすおそれがあります。 ・入庫時は乗込台に当たらないよう注意しながらゆっくり入庫して下さい。

3-1-4　車の付属物について

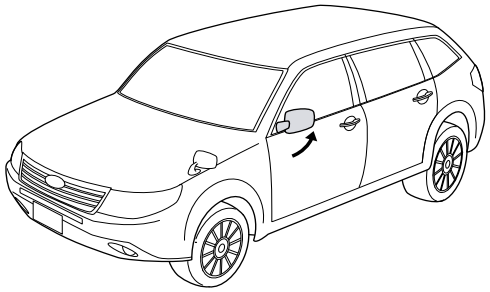
車検証では入庫可能な寸法であっても、改造や突起物などにより入庫可能車の寸法・重量を超えるときがあります。管理者は、以下の項目に注意して、入庫が可能であるかを判断してください。

入庫が不可能と判断したときは、突起物などを取り外すか、入庫しないでください。

■ アンテナ

注　意
アンテナが機械と接触し、パーキングや関連機器、車などに破損や故障を引き起こすおそれがあります。 ・入庫前にアンテナが取り外されているか、おさめた状態になっていることを確認してください。 

■ ドアミラー・フェンダーミラー

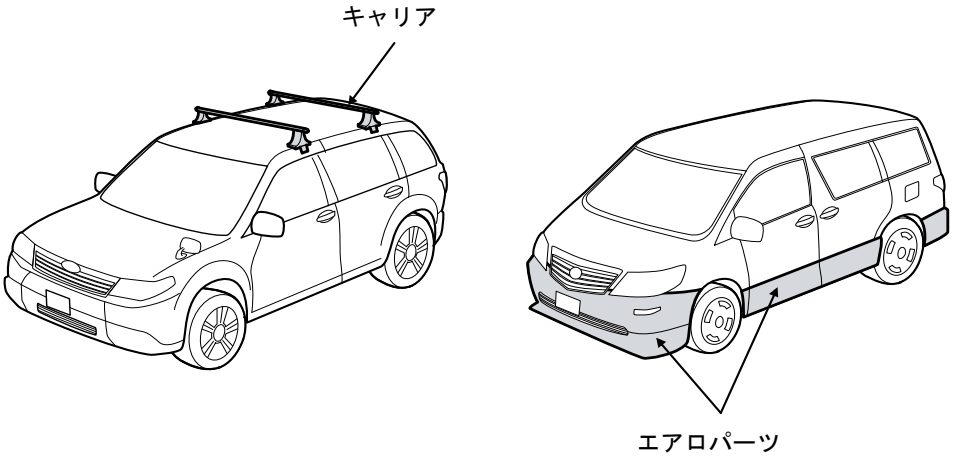
注　意
全幅、タイヤ外幅が入庫可能寸法以下でも、ドアミラーやフェンダーミラーがパレットからはみ出し、機械と接触し、パーキングや関連機器、車などに破損や故障を引き起こすおそれがあります。 ・パレットの中央に駐車してください。 ・入庫前にドアミラーは折りたたんでください。 ・フェンダーミラーを取り付けてある車は、入庫可能寸法内以下かどうか十分に確認してください。 

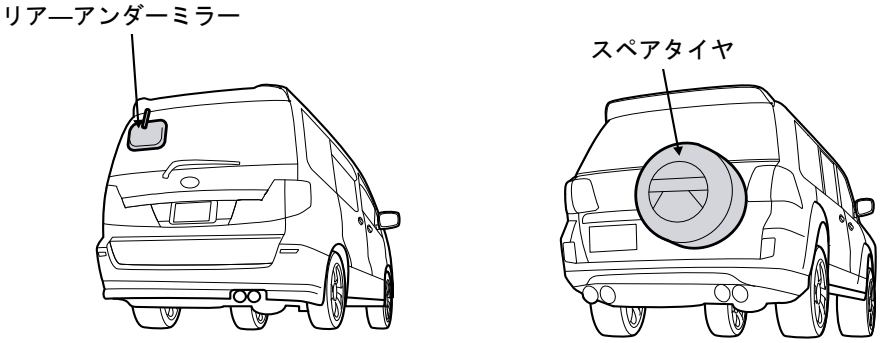
■ 突起物

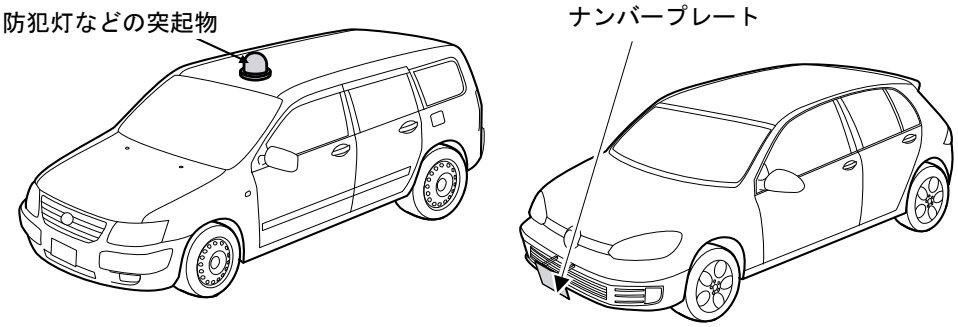
注 意

突起物が機械と接触し、パーキングや関連機器、車などに破損や故障を引き起こすおそれがあります。

・管理者は、キャリア、エアロパーツ、フェンダーミラー、リアーアンダーミラー、スペアタイヤ、防犯灯、ナンバープレートなど突起物がある車が入庫可能か判断してください。







・ディーラーの正規オプション品装着の場合でも、入庫可能かどうか確認が必要です。
・ディーラーの正規オプションのエアロパーツや車高を下げるサスペンションによっては、パレットの立ち上がりと干渉しドアが開かない場合があります。

■ リモコン操作対応車

ドアロック施錠／開錠のリモコン操作は、前面ゲートが開いているときにおこなってください。

その他のリモコン操作（エンジンスターター、スライドドアの開閉など）は車がパーキングの外にあるときにおこなってください。

注 意	
	リモコンを誤って操作すると、パーキングの動作中に車が動いたり、トランクが開いてはみ出し、パーキングや関連機器、車などに破損や故障を引き起こすおそれがあります。 ・パーキング内でのリモコン操作は、ドアロック施錠／開錠のみにしてください。
	リモコンを誤って操作すると、パーキングの動作中に車が動いたり、トランクが開いてはみ出し、パーキングや関連機器、車などに破損や故障を引き起こすおそれがあります。 ・パーキング内ではトランクを開かないでください。

■ 盗難防止装置搭載車

盗難防止装置を搭載した車を入庫すると、パーキング作動中の揺れを検出して警報が作動する場合があります。

	盗難防止装置搭載車を入庫すると、盗難防止システムが作動し、近隣に迷惑をかけるおそれがあります。作動した場合は、管理者に連絡してください。

4. 運転操作方法

4-1 パーキング運転操作時の安全重要項目

O	M	U
オーナー	管理者	取扱者

パーキング運転操作時の危険、警告項目について、以下に記載しています。

危　険

■パーキング入出庫時の危険項目

・パーキング内に閉じ込められると、機械に挟まれる、転落するなど、人身事故のおそれがあります。

パーキング内に閉じ込められてしまった場合、閉じ込めに気づいた場合

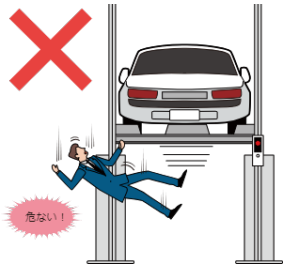
① 閉じ込められてしまった場合

・車内にいる状態でパーキングに閉じ込められてしまった場合は、車外に出ないで車内に留まり、クラクションを鳴らしたり、携帯電話などで外部に連絡してください。

・車外にいる場合は、大声で注意を喚起するなどして、パーキング外の人に自分の存在を伝えてください。

② 閉じ込めに気づいた場合

・パーキング外で、内部に人が閉じ込められていることに気がついた場合は、ただちに［非常停止］ボタンを押してパーキングを停止し、管理者に連絡してください。



■パーキング入出庫時の危険項目

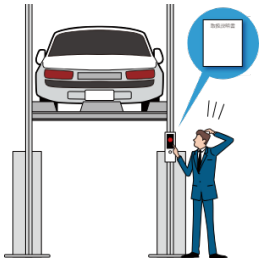
閉じ込めによる人身事故のおそれがあります。

・同乗者やペットの乗降は、必ずパーキングの外で行い、ドライバー以外は、パーキングへ入らないでください。

・小さいお子様などを、パーキング内へ同行させた場合の事故に関しては、当社は責任を負いません。取扱者の責任のもと、安全確保・管理を徹底してください。

誤った入出庫操作により、人身事故のおそれがあります。

・管理者に使用の許可を与えられた取扱者以外は、入出庫操作をしないでください。



転倒や挟まれによるけがや事故につながるおそれがあります。

・パーキング内には、パレットの隙間や段差などがあります。足元や頭上に注意して、ゆっくりと歩いて、ゆっくりと乗降してください。

・車椅子を使ってパーキング内に立ち入らないでください。

危　険

・乗降エリア以外の場所に立ち入らないでください。

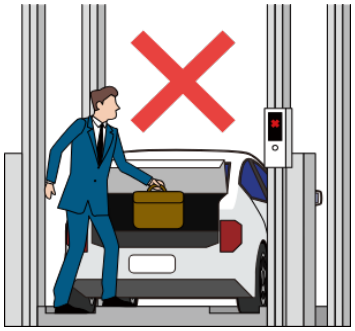
▶「2-2 乗降エリア」を参照してください。

・すみやかに入出庫してください。

パーキング内の荷物の積みおろしは、閉じ込め、転倒による人身事故のおそれがあります。

・パーキング内では荷物の積みおろしをしないでください。

・後部ドア、スライドドアは開けないでください。



■操作盤操作時の危険項目

取扱者がパーキングの作動時に操作盤から離れると、人身事故のおそれがあります。

・非常事態が発生した際に素早く［非常停止］ボタンを押せるように、パーキング作動中は、操作盤から離れないでください。

・車内からの操作は絶対にしないでください。

取扱者がパーキングから目を離すと、人身事故のおそれがあります。

・人身事故の発生を防ぐために、パーキング作動中はパーキングおよび周囲の状況を確認してください。

・携帯端末等の使用はやめてください。

閉じ込めによる人身事故のおそれがあります。

・人を乗せての操作は絶対にしないでください。

・入出庫時に［無人確認ボタン］を押すときは、パーキング内に人がいないことを確認してください。

パーキング内に人がいる可能性があります。

・操作盤に他の人の操作キーが付いている場合は、管理者に連絡してください。

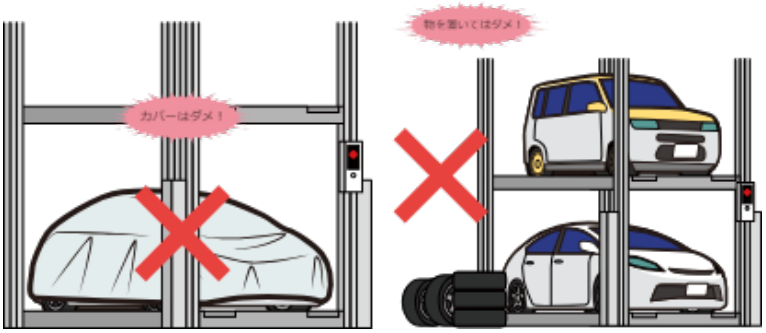


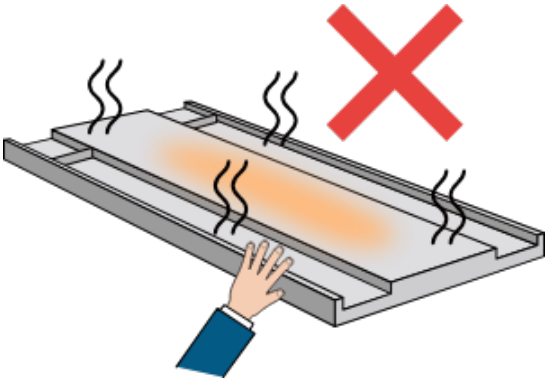
■前面ゲート動作中の危険項目

前面ゲートに挟まれるなど、人身事故のおそれがあります。

・前面ゲート動作中は、同乗する方や第三者が不用意に近づかないようにしてください。

・車内からの操作は絶対にしないでください。

危　険
前面ゲートに挟まれると、けがや事故につながります。 ・前面ゲートに触ったり、ゲート付近に立ち止まらないでください。 閉じ込めや機械への挟まれにより、人身事故のおそれがあります。 ・前面ゲート動作中にゲートをくぐったり、またいだり、乗り越えたりしないでください
■パーキングからの落下物に関する危険項目 物品がパーキングから落下し、利用者や第三者のけがや事故につながるおそれがあります。 ・パーキング内に物を置かないでください。 ・車のカバーはしないでください。 ・パレット上のごみや異物は取り除いてください。  駐車した車から雪が落ち、利用者や第三者のけがや事故につながるおそれがあります。 ・車に積もった雪、付着している雪は、入庫前に取り除いてください。
■ターンテーブル使用時の危険項目 ターンテーブル旋回中は、車と壁や構造物の間に挟まれたり、転倒するなど、人身事故のリスクがあります。 ・旋回中のターンテーブルに乗ったり、車両回転エリア内に入らないでください。 ターンテーブル旋回中は、車と壁や構造物の間に挟まれたり、転倒するなど、人身事故のおそれがあります。 ・車両回転エリア内に物を置かないでください。
■自然条件に関する危険項目 台風や発達した低気圧など強風が予想されるときは、パーキングを使用しないでください。 ・上段に車を収納するパーキングでは、強風時に車がパレットから落下するおそれがあります。状況に応じて、上段に駐車している車を降ろして安全な場所に避難させてください。 地下に車を収納するパーキングでは、豪雨や冠水時に排水が間に合わないと地下に水が溜まるおそれがあります。 ・豪雨や冠水が予想されるときは、地下に駐車している車を地上に出して安全な場所に避難させてください。 落雷時は感電などのおそれがありますので、パーキングを使用しないでください。

⚠ 警　告	
	■パーキング入庫前の警告項目 パレット上は滑りやすく段差があるため、挟まれや転倒などの人身事故のおそれがあります。 ・裸足やハイヒール、スリッパ、サンダル等の履物でパーキング内に立ち入らないでください。 ・杖などの補助具を使用して立ち入らないでください。 ・車椅子ではパーキング内へ立ち入らないでください。 ・パーキングの積雪や凍結時にはパーキングを使用しないでください。 ・パーキングの損傷につながるため、タイヤチェーンは使用しないでください。 夏場など日射の強いときは、パレットやパーキング構造物が熱くなり、触ると火傷のおそれがあります。 ・夏場はパレットに直接触れないでください。  ・入出庫場所にパレットがあることを確認してください。パレットが無い場合、入出庫を中止し、管理者に連絡してください。 火災発生のおそれがあります。 ・パーキング内での喫煙や火気の使用はやめてください。
	前面ゲートが開ききる前に進入すると、パーキングや車を破損するおそれがあります。 ・パーキング内への進入は、前面ゲートが完全に停止するまで待ってください。 前面ゲートの開閉に支障をきたすおそれがあります。 ・前面ゲート付近に物を置かないでください。 服が汚れたり、けがにつながるおそれがあります。 ・操作盤以外には触れないでください。 ・パーキング内のチェーンやワイヤーなどの可動部には、特に注意して乗降してください。
	■ターンテーブル使用時の警告項目 ターンテーブル上は滑りやすく、段差があるため、転倒によるけがや事故につながるおそれがあります。 ・足元に注意して乗降してください。

注 意

■パーキング入庫前の注意項目

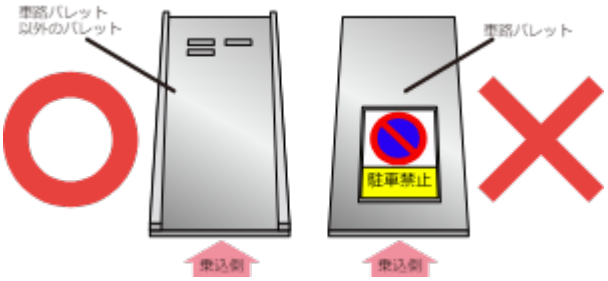
後部ドア、スライドドアを開けるとパーキングや車が破損する恐れがあります。

・後部ドア、スライドドアは開けないでください。

縦列式パーキングの車路パレットに駐車すると、パーキングや車が破損します。

・車路パレットは駐車禁止です。必ず決められたパレットに駐車してください。

▶「2-2 乗降エリア」の「■昇降横行　縦列式」を参照してください。



・冬場など、気温が 0℃以下になると、タッチパネルの反応が悪くなる場合があります。

4-2 入出庫操作(タッチパネル式操作盤)

O	M	U
オーナー	管理者	取扱者

パーキングの運転方法について説明します。

4-2-1 入出庫操作の概要

入出庫前の確認

パーキング内や付近および車内に、お連れの方や第三者などがいないことを確認する。

入出庫するパレットの呼び出し操作

操作盤で入出庫するパレットを呼び出し、安全を確認して前面ゲートを開きます。▶「4-2-2 入出庫手順」を参照してください。

① 操作盤扉を開ける。
② 操作キーを差し込み、スイッチをＯＮに切り替える。
③ パーキング内および周囲の安全を確認して、[安全確認ボタン]をタッチする。
④ タッチパネルで番号を入力し、［呼出］をタッチする。
⑤ パーキングが作動します。
⑥ 安全を確認して、ゲート［開く］をタッチする。
⑦ ゲートが作動します。

車の入出庫

車を入出庫します。運転者以外はパーキングに入らないでください。

入出庫後の操作

パーキング内や付近および車内に、お連れの方や第三者などがいないことを確認します。▶「4-2-2 入出庫手順」を参照してください。

⑧ パーキング内や付近および車内に、お連れの方や第三者などがいないことを確認し、開いたゲート左右の［無人確認ボタン］を押す。
⑨ パーキング内および周囲の安全を確認して、［安全確認ボタン］をタッチする。
⑩ ゲート［閉じる］をタッチする。
⑪ タッチパネルで番号を入力する。
⑫ ゲートが閉まって、パーキングが作動します。

入出庫完了操作

⑬ スイッチをＯＦＦに切り替えて、操作キーを抜く。

操作盤の扉をゆっくりと閉じる。

4-2-2　入出庫手順

1. 操作盤扉を開ける。

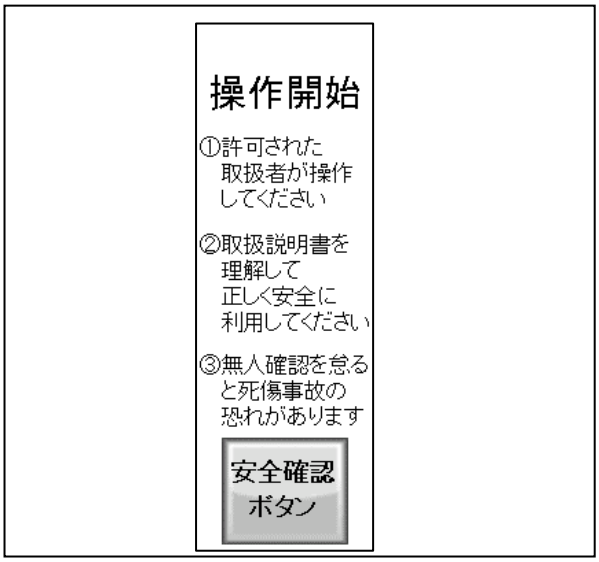
	抜き忘れた操作キーを見つけた場合は、管理者に届けてください。



⚠ 危　険	
	閉じ込めによる人身事故のおそれがあります。 ・操作盤に他の人の操作キーが付いている場合は、パーキング内に人がいる可能性があります。絶対に操作しないで、前の人が操作を終了するまで待ってください。 ・前面ゲートが開いている場合は、中に人がいる可能性があります。絶対に操作しないで、前の人が操作を終了するまで待ってください。
	取扱者がパーキングの作動中に操作盤から離れると、人身事故のおそれがあります。 ・車内からの操作は絶対にしないでください。

2. 操作キーを差し込み、スイッチをＯＮに切り替える。

タッチパネルに［操作開始］と表示されます。また、［安全確認ボタン］が点滅します。



3. パーキング内および周囲の安全を確認し、［安全確認ボタン］をタッチする。
タッチパネルが［番号入力］画面に変わります。



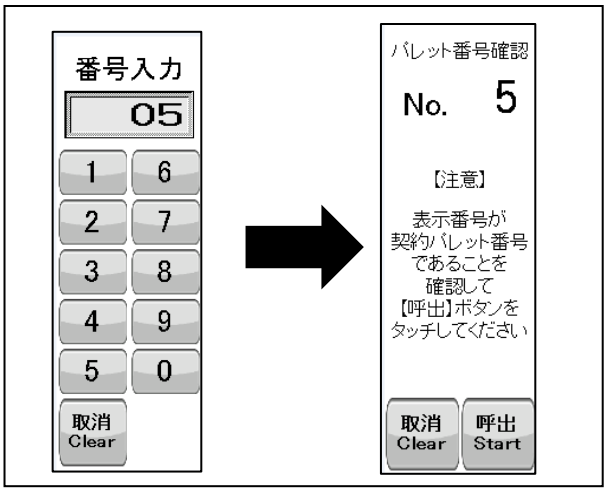
危　険

閉じ込めによる人身事故のおそれがあります。
・［安全確認ボタン］をタッチするときは、パーキング内および周囲の安全を確認してください。

・［安全確認ボタン］は取扱者が安全確認を正しくおこなったことを入力するための確認ボタンです。パーキング内に人がいないこと、パーキング内が安全であることを確認してからタッチしてください。

4. ［番号入力］画面にてタッチパネルの数字キーをタッチして指定された番号を入力する。

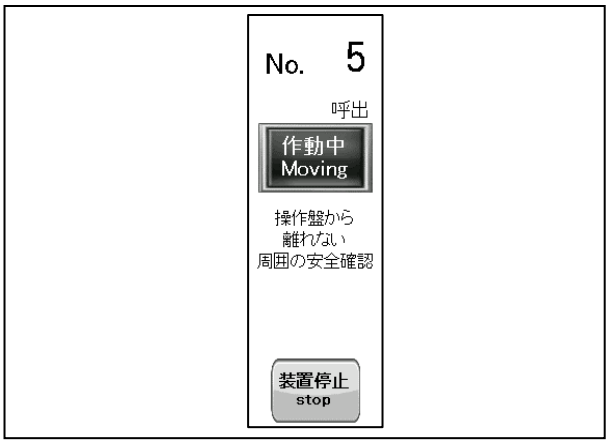
［番号確認］画面に変わりますので、呼出すパレット番号であるか確認し［呼出］をタッチする。



	番号とは管理者から指定された番号です。 ・指定された番号がパレット番号の場合、「１」は「０１」と入力してください。 ・指定された番号がパレット番号で、同パーキングに３桁のパレット番号がある場合、「９９」は「０９９」と入力してください。 指定された番号が、パレット番号と異なる３桁数字の場合について ・番号を変更することはできません。 ・忘れた場合は、管理者に問い合わせてください。
	・［番号確認］画面に変わってから、一定時間内に何も操作がなかった場合は、自動で［操作終了］画面に変わります。 ・［呼出］は入庫または出庫のために指定のパレットを呼び出す時にタッチします。 ・入力を間違えたときは、［取消］キーをタッチして入力をやり直します。

注　意
タッチパネルを車のキーや、道具などで操作すると、誤操作、操作盤の破損につながるおそれがあります。 ・タッチパネルの操作は、指先にておこなってください。
パーキングや車を破損するおそれがあります。 ・番号の入力間違えで、呼出すパレット番号が違った場合は、区画により収容可能な全高などが違うため、入庫しないでください。

5. パーキングが作動して、タッチパネルに［作動中］が表示されます。



⚠ 危　険

取扱者がパーキングの作動中に操作盤から離れると、人身事故のおそれがあります。

・非常事態が発生した場合、タッチパネルの操作盤下の［非常停止］ボタンをすぐに押せるように、パーキング作動中は、操作盤から離れないでください。

重大な事故が発生するおそれがあります。

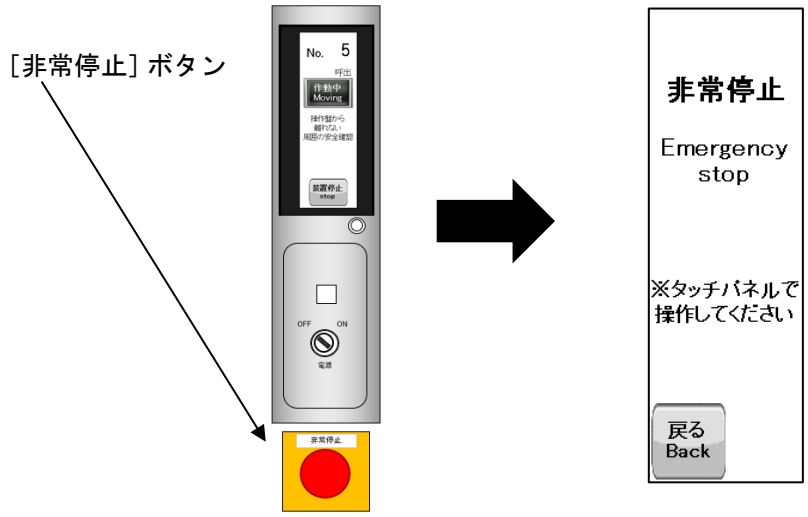
・作動中に異音などが聞こえた場合、すぐに操作盤下の［非常停止］ボタンを押してパーキングを停止し、管理者に連絡してください。

注　意

パーキングや車を破損するおそれがあります。

・ミラーのたたみ忘れや駐車スペース内に車がおさまっていないのに、作動させてしまった時など、操作手順にミスがあった場合、タッチパネルの［装置停止］をタッチしてパーキングを停止し、安全を確認の上、再操作してください。

■［非常停止］ボタンを押した場合

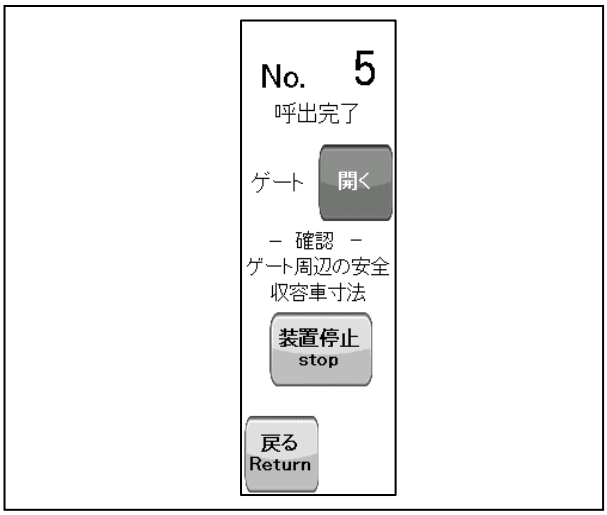


・［非常停止］ボタンを押してパーキングを停止した場合、すぐに管理者に連絡して、指示に従ってください。

・［非常停止］ボタンを解除しないでください。

※ ▶「8-1　異常発生時の対処」とあわせて確認してください。

6. パレット番号のパレットが呼び出されると、タッチパネルにゲート［開く］が表示されます。
前面ゲート付近に人がいないことを確認し、［開く］をタッチする。



	・［呼出し完了］画面に変わってから、一定時間内に何も操作がなかった場合は、自動で［操作終了］画面に変わります。 ・前面ゲートの動作が完了すると、［安全確認ボタン］が点滅します。

危　険

	前面ゲートに挟まれるなど、人身事故のおそれがあります。 ・前面ゲート作動中は、同乗する方や第三者が不用意に近づかないようにしてください。
	前面ゲートに挟まれると、けがや事故につながります。 ・前面ゲートや支柱に触ったり、ゲート付近に立ち止まらないでください。
	閉じ込めや機械の挟まれにより、人身事故のおそれがあります。 ・前面ゲート作動中にゲートをくぐったり、またいだり、乗り越えたりしないでください。

警　告

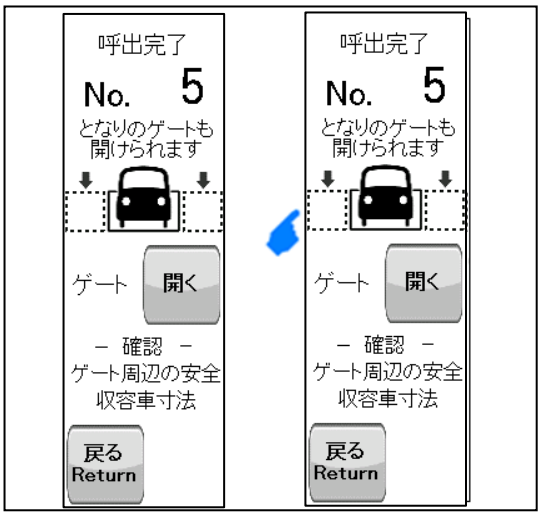
	前面ゲートの動作が完了する前に進入すると、パーキングや車を破損するおそれがあります。 ・パーキング内への進入は、前面ゲートが完全に停止するまで待ってください。
	前面ゲートの開閉に支障をきたすおそれがあります。 ・前面ゲート付近に物を置かないでください。

ゲート２枚開き（T12・LZ縦列後側以外）

■運転者が正面ゲートからパーキングに入りにくい場合

・左右いずれか運転席側のゲート箇所を選択し［開く］をタッチすると正面を含め２枚のゲートが同時に開くようになります。

押し間違えた場合は正しいゲート箇所を再度押してください。取り消す際は同じ箇所を押すとリセットされます。



7. ゲートの作動が完了したことを確認し、車を入庫または出庫する。

注 意
パーキングや車を破損するおそれがあります。 ・時速 3km 以下にてゆっくり入出庫してください。 ・パレットから車がはみ出していないかを必ず確認ください。 ・パレット両側の高くなっているところにタイヤを乗り上げないでください。
入庫できる車の大きさや、その他の条件については、▶**「3　入庫の条件」**を参照してください。

入庫時には、

■ドアミラー、アンテナをたたむ
■バックで入庫する
■パレットの中央に駐車する
■後輪が車止めにあたるまでバックする

入庫したら、

■ギアを「P」（パーキング）に入れる
（マニュアル車は「R」（バック））
■パーキングブレーキをかける
■エンジンを止める

出庫時には、

■ギアが「D」に入っていることを確認する
（マニュアル車は「ロー」）
■周囲の安全を確認しながら、徐行する

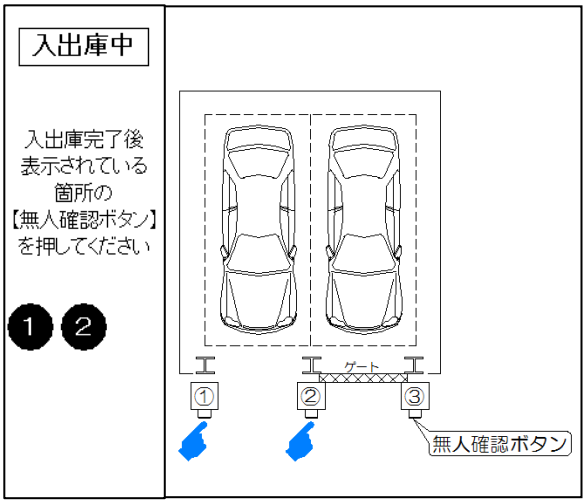
出庫したら、

■ドアミラーは、完全に出庫してから開く
■アンテナは、完全に出庫してから取付または伸ばす

⚠ 危　険
パーキング内には、パレットの隙間や段差などがあり、転倒や挟まれによるけがや事故につながるおそれがあります。 ・足元や頭上に注意して乗降してください。 ・車内から身を乗り出して入出庫しないでください。
パーキングからの車の出入りに注意してください。人身事故のおそれがあります。 ・パーキング内では徐行してください。 ・パーキングからの出庫時には、人の飛び出しに十分注意してください。
パーキング内の乗降エリア以外に立ち入ると、閉じ込めや転倒による人身事故のおそれがあります。 ・乗降エリア以外の場所に立ち入らないでください。 ▶「2-2　乗降エリア」を参照してください。

⚠ 警　告	
	機械や車を破損するおそれがあります。 ・入庫前にパレットのパレット番号を確認して、必ず決められたパレットに駐車してください。 ・入庫前に収容可能な車かどうかを確認して、入庫可能な車のみ入庫してください。 ・収容可能な車であっても、駐車位置によっては機械と接触する場合があります。駐車スペース内に車があることを確認してください。 ▶「3-1-2　駐車スペースについて」を参照してください。
	パーキング内のコンクリート部分、縦列式パーキングの車路パレットに駐車すると、パーキングや車を破損するおそれがあります。 ・車路パレットは駐車禁止です。必ず決められたパレットに駐車してください。
	服が汚れたり、けがにつながるおそれがあります。 ・パーキング内のチェーンやワイヤーなどに注意して乗降してください。 ・通路には狭い場所、低い場所があります。周囲に注意して通行してください。

8. 車の入出庫が完了したら、パーキング内や付近および車内に、人がいないことを確認し、開いたゲートの左右の［無人確認ボタン］を押す。



■他の乗降エリアで区画センサが検知した場合

・区画センサが検知している箇所が、画面に表示されます。パーキング内に人がいないことを確認してください。

⚠ 危　険	
	閉じ込めによる人身事故のおそれがあります。 ・［無人確認ボタン］を押すときは、パーキング内や付近および車内に、お連れの方や第三者がいないことを確認してください。

9. パーキング内および周囲の安全を確認し、［安全確認ボタン］をタッチする。



危　険

閉じ込めによる人身事故のおそれがあります。
・［安全確認ボタン］をタッチするときは、パーキング内および周囲の安全を確認してください。

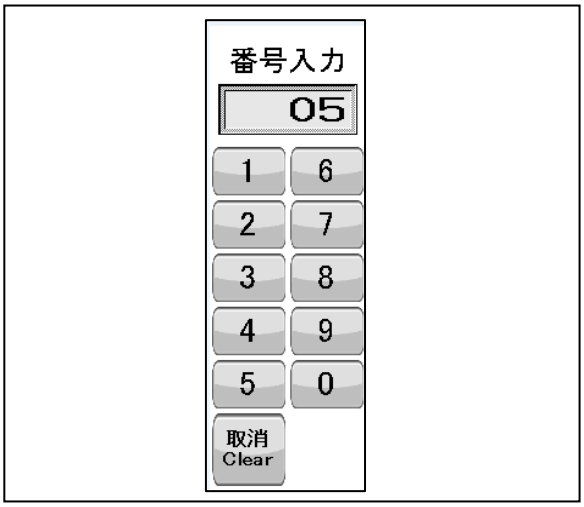
10. タッチパネルにゲート［閉じる］が表示されます。
［閉じる］をタッチする。タッチパネルが［番号入力］画面に変わります。

・［閉じる］（戻る）は入庫または出庫のために指定のパレットを収納する時にタッチします。



11. 前面ゲート付近に人がいないことを確認し、［番号入力］画面にてタッチパネルの数字キーをタッチして再度指定された番号を入力する。

ゲートが作動します。



⚠ 危　険
前面ゲートに挟まれるなど、人身事故のおそれがあります。 ・前面ゲート作動中は、同乗する方や第三者が不用意に近づかないようにしてください。
前面ゲートに挟まれると、けがや事故につながります。 ・前面ゲートや支柱に触ったり、ゲート付近に立ち止まらないでください。
閉じ込めや機械の挟まれにより、人身事故のおそれがあります。 ・前面ゲート作動中にゲートをくぐったり、またいだり、乗り越えたりしないでください。

⚠ 警　告
前面ゲートの作動が完了する前に進入すると、パーキングや車を破損するおそれがあります。 ・パーキング内への進入は、前面ゲートが完全に停止するまで待ってください。
前面ゲートの開閉に支障をきたすおそれがあります。 ・前面ゲート付近に物を置かないでください。

12. パーキング作動完了後、［操作終了］が表示されます。
操作キーをＯＦＦにして、キーを抜く。
（［操作終了］画面にならないと操作キーをＯＦＦにできません。）



操作キーをＯＦＦにすると、［無人確認］ボタンが消灯します。

13. 操作盤扉を閉じる。

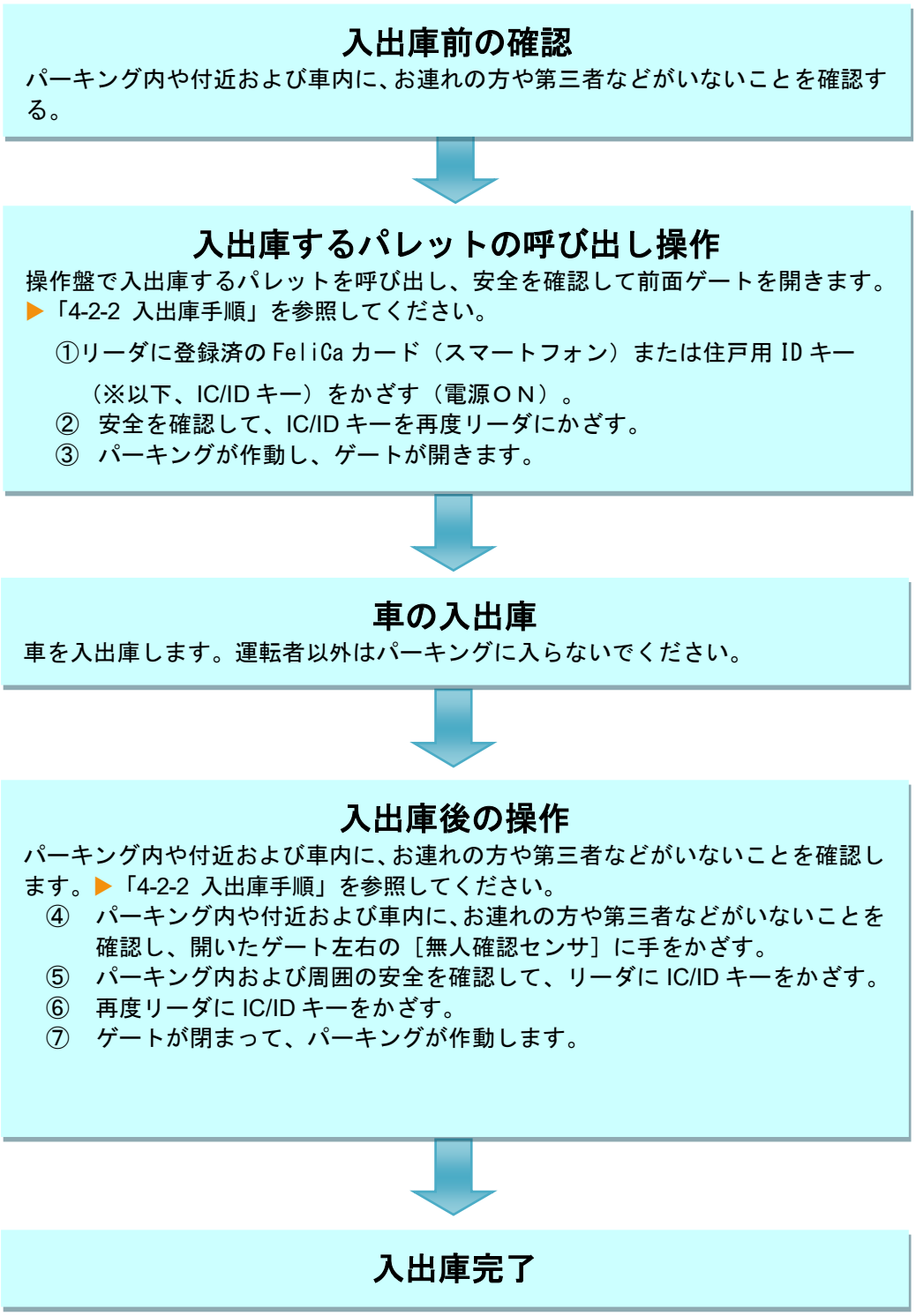


⚠ 警　告
不用意な操作やいたずらなどにより、けがや事故につながるおそれがあります。 ・操作を終了したら、操作盤の扉を閉めてください。

4-3 入出庫操作（タッチレス操作）（オプション）

パーキングの運転方法について説明します。

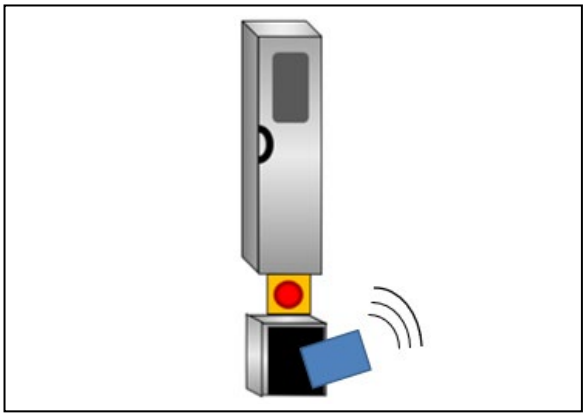
4-3-1 入出庫操作の概要



O オーナー　M 管理者　U 取扱者

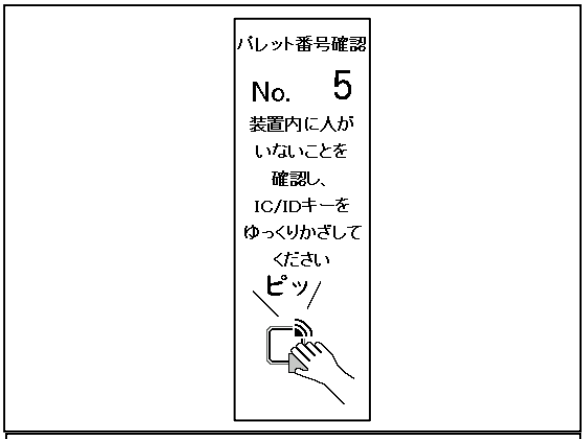
4-3-2　入出庫手順

1. カードリーダに登録済の FeliCa カード（スマートフォン）または住戸用 ID キー（※以下、IC/ID キー）をかざす。

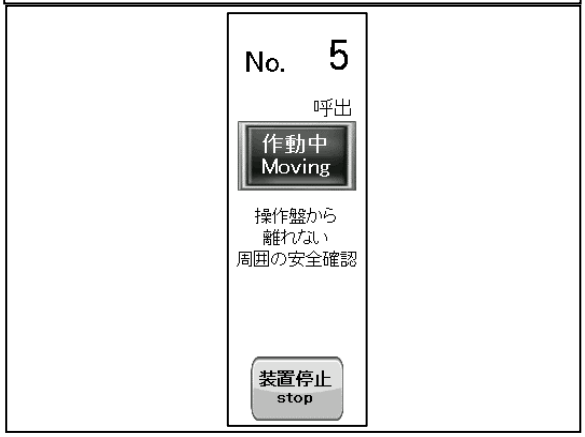


▶「4-2-2　入出庫手順」記載の注意事項等とあわせて確認してください。

2. 表示番号が契約パレット番号であることを確認し、パーキング内および周囲の安全を確認し、再度 IC/ID キーをかざす。

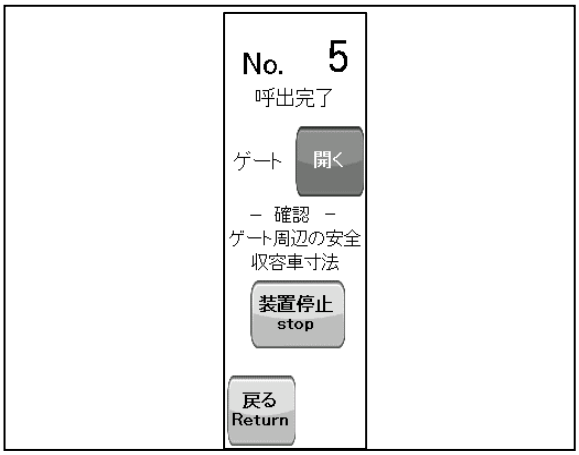


3. パーキングが作動して、タッチパネルに［作動中］が表示されます。



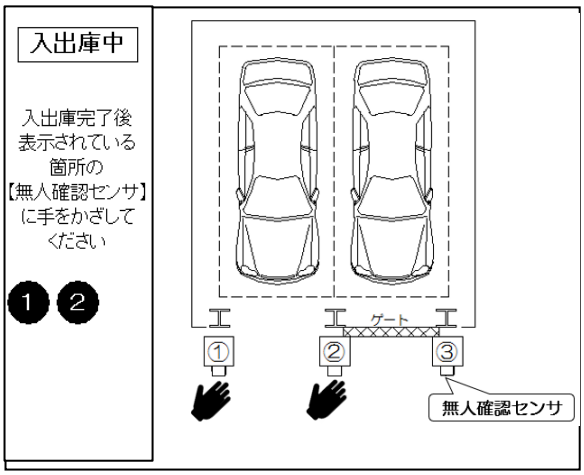
4. パレット番号のパレットが呼び出され、タッチパネルに［呼出完了］が表示されてゲートが開きます。

5. ゲートの作動が完了したことを確認し、車を入庫または出庫する。



⚠ 危　険	
	前面ゲートに挟まれるなど、人身事故のおそれがあります。 ・前面ゲート作動中は、同乗する方や第三者が不用意に近づかないようにしてください。
	前面ゲートに挟まれると、けがや事故につながります。 ・前面ゲートや支柱に触ったり、ゲート付近に立ち止まらないでください。
	閉じ込めや機械の挟まれにより、人身事故のおそれがあります。 ・前面ゲート作動中にゲートをくぐったり、またいだり、乗り越えたりしないでください。

6. 車の入出庫が完了したら、パーキング内や付近および車内に、人がいないことを確認し、開いたゲートの左右の［無人確認センサ］に手をかざす。

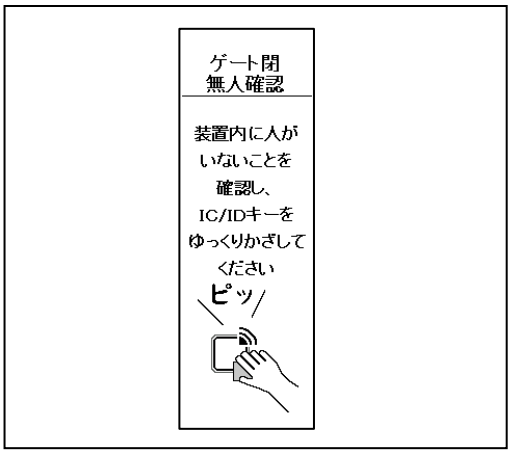


⚠ 危　険	
	閉じ込めによる人身事故のおそれがあります。 ・［無人確認センサ］に手をかざすときは、パーキング内や付近および車内に、お連れの方や第三者がいないことを確認してください。

7. パーキング内および周囲の安全を確認し、IC/ID キーをかざす。



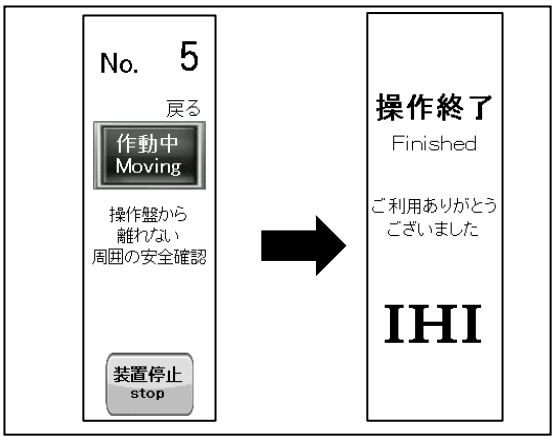
パーキング内の無人を確認し､再度 IC/ID キーをかざす。



危　険

閉じ込めによる人身事故のおそれがあります。
・IC/ID キーをかざすときは、パーキング内および周囲の安全を確認してください。

8. ゲートおよびパーキングが作動し完了後、［操作終了］が表示されます。



警　告

次の利用者が操作できなくなります。
・操作終了まで一連のカード認証を必ず行ってください。

閉じ込めによる人身事故のおそれがあります。
・操作終了まで操作盤から離れないでください。

・携帯電話・スマートフォンは FeliCa チップ搭載型のみご利用できます。
端末メーカーに確認をして頂き、FeliCa チップ搭載型以外は使用しないで下さい。時折「未登録カード」となり、操作できない場合があります。
本パーキングはカードの IDm（製造番号）のみを記憶しており、氏名などの個人情電子マネー情報は読取・記憶をしておりません。ご不安の方は操作キーでの操作をお願い致します。

4-4 ターンテーブルの操作

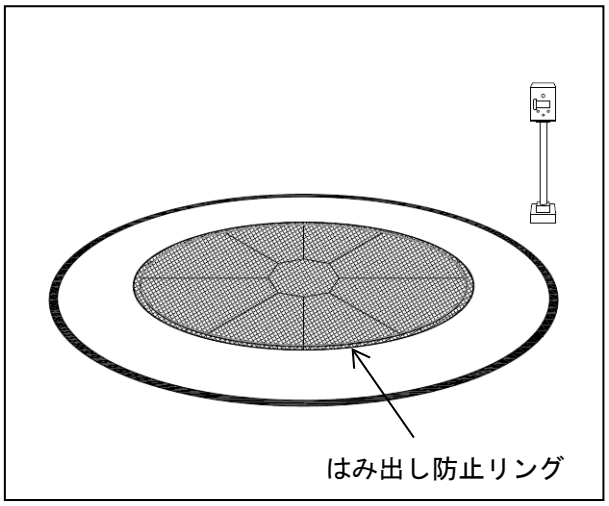
O	M	U
オーナー	管理者	取扱者

ターンテーブル（オプション）の運転方法について説明します。

1. はみ出し防止リングからタイヤがはみ出さないように、ターンテーブルの中央に車を停車し、車が車両回転エリア内にあることを確認してください。

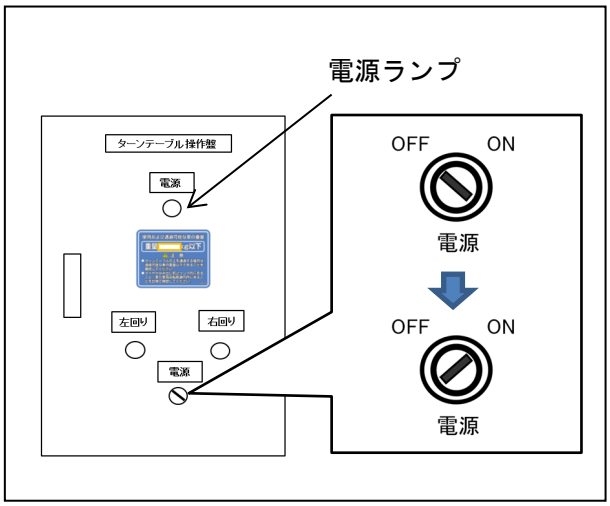
停車したら、

■ギアを「P」（パーキングに）入れる
（マニュアル車は「R」（バック）に）
■パーキングブレーキをかける
■エンジンを止める
■降車する



2. ターンテーブル操作盤に操作キーを差し込み、スイッチをＯＮに切り替える。

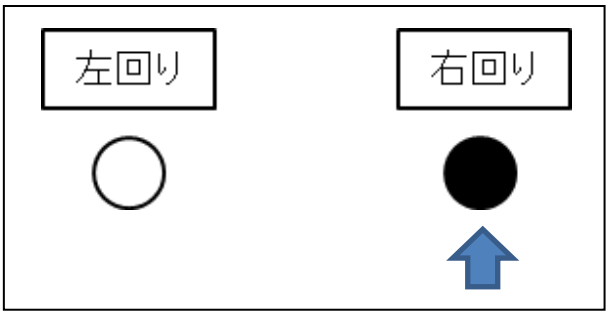
■タッチレス操作（オプション）連動仕様の場合は、パーキングのリーダに IC/ID キーをかざしてください。電源ランプが点灯している間は旋回できます。



※　上図は、実際と異なる場合があります。

⚠ 危　険	
	ターンテーブル上は滑りやすく、段差があるため、転倒によるけがや事故につながるおそれがあります。 ・足元に注意して乗降してください。
	夏場など日射の強いときは、ターンテーブル上面が熱くなり、触ると火傷の危険があります。 ・夏場はターンテーブルに直接触らないでください。

3. ターンテーブルの上および付近に人がいないことを確認し、［右回り］または［左回り］ボタンを押すと、ターンテーブルが旋回します。



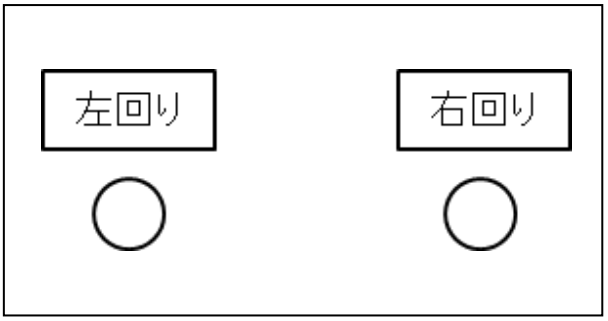
ターンテーブルは、ボタンを押している間だけ旋回します。
（図は右回りの場合）

危　険

ターンテーブル旋回中は、車と壁や構造物の間に挟まれたり、転倒するなど、人身事故のおそれがあります。
・旋回中にターンテーブルに乗ったり、車両回転エリア内に入らないでください。
・人が車に乗車している状態では旋回はしないでください。

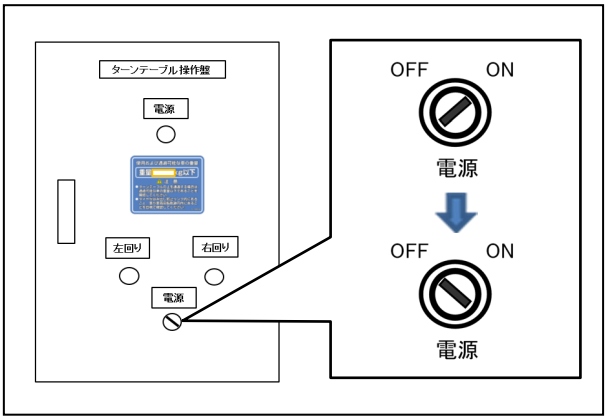
ターンテーブルに、車以外の物を置くと、障害物となり、けがや事故につながるおそれがあります。
・車両回転エリア内に物を置かないでください。

4. 入出庫しやすい位置まで回転させたら、ボタンを放して回転を止める。



5. 操作キーをＯＦＦにして、キーを抜く。

車を発進させるときには、出入り口付近の歩行者や車に十分注意してください。



警　告

不用意な操作やいたずらなどにより、けがや事故につながるおそれがあります。
・使用時のみスイッチをＯＮにしてください。
・操作を終了したら、必ず鍵を抜いてください。

4-5 ICカードの設定（登録・照会方法）

O	M	U
オーナー	管理者	取扱者

タッチレス操作（オプション）のFeliCaカード（スマートフォン）の登録・照会方法について説明します。

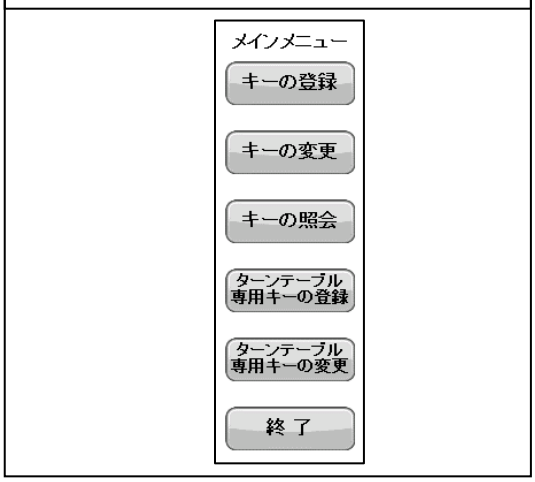
1. 操作盤扉を開け、操作キーを差込みスイッチをＯＮに切り替える。タッチパネル画面の［IC/ID キーの設定］をタッチする。



登録には操作キーと登録する FeliCa カード（スマートフォン）が必要です。

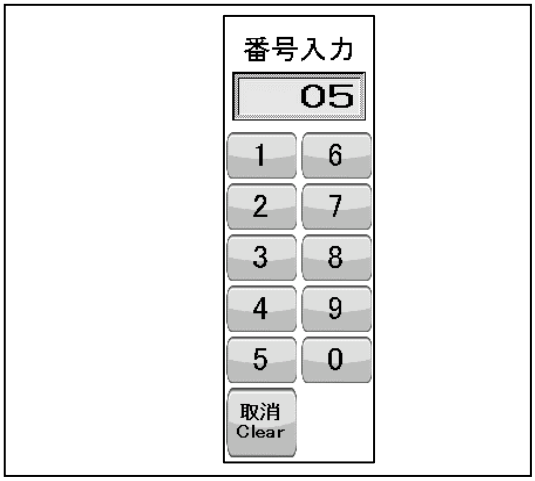
2. メインメニューの［キーの登録］をタッチする。

ターンテーブル専用キーの場合は［ターンテーブル専用キーの登録］をタッチする。（オプション、ターンテーブル連動の場合のみ登録および利用可能）



3. タッチパネル画面で番号を入力。（2 桁／3 桁）

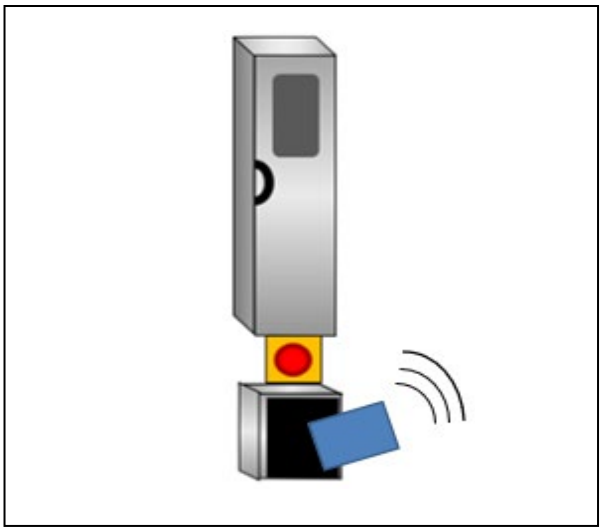
パレット番号 1 の場合は 01 とする。



ターンテーブル専用キー
登録可能な番号
2 桁／01～05
3 桁／001～005

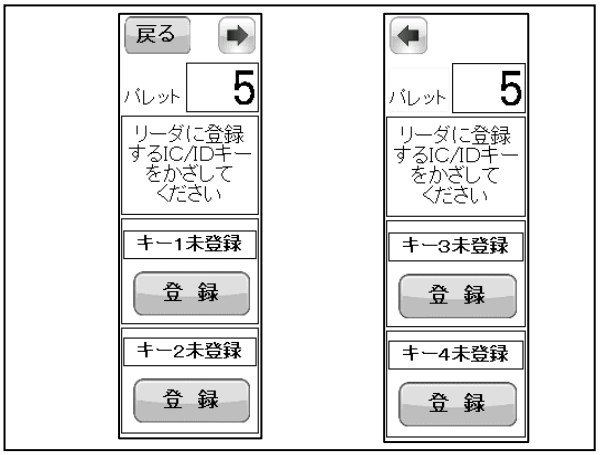
ID キーの登録・変更・削除はマンションキーシステム管理者にて行ってください。ご利用者様による登録はできません。
住戸用キーに個別 ID が記憶されているものを ID キーと呼びます。

4. カードリーダに登録する FeliCa カード（スマートフォン）をリーダにかざす。



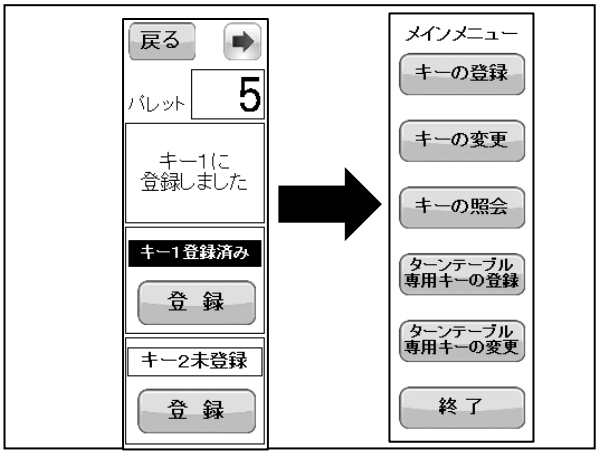
	カードをかざす時は、他の FeliCa カードと一緒にかざさないでください。カードが認識されません。 ピッと音がするまでしっかりかざしてください。 音がするカードがご利用可能な FeliCa カードとなります。

5. キー1／キー2／キー3／キー4 を選択し［登録］をタッチする。
（キー3／キー4 の登録時は［→］をタッチし次画面へ移動，前画面に移動するには［←］をタッチする）



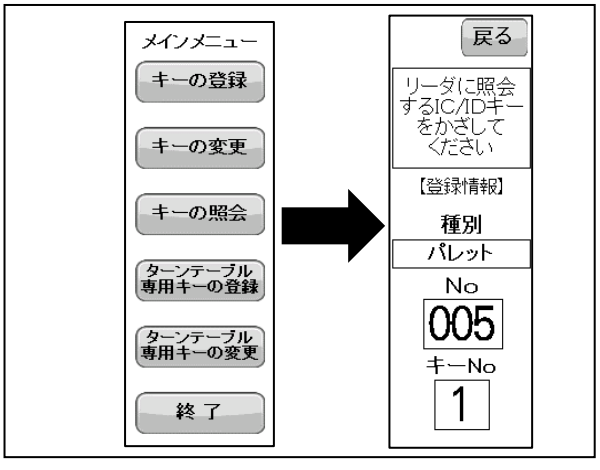
6. 登録確認後、［戻る］をタッチする。

7. メインメニューに戻り、［終了］をタッチする。



	一つの区画に最大４枚まで登録可能です。 なお、１枚のカードで複数区画の登録はできません。 （１カードで１区画）

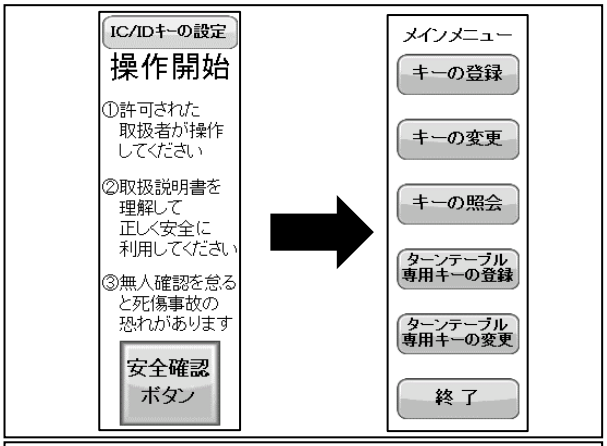
8. 登録内容の照会をする場合は
タッチパネル画面の［キーの照会】をタッチし、リーダに照会する IC/ID キーをかざすと登録内容が表示される。



4-6　IC カードの設定（削除方法）

タッチレス操作（オプション）の登録済FeliCaカード（スマートフォン）の削除方法について説明します。

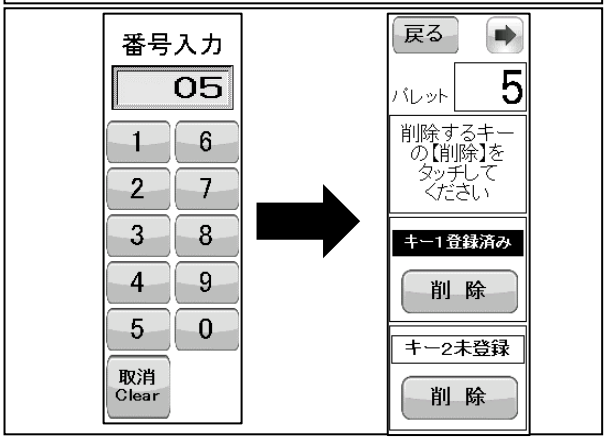
1. 操作盤扉を開け、操作キーを差し込みスイッチを ON に切り替える。タッチパネル画面の［キーの変更］もしくは［ターンテーブル専用キーの変更］をタッチする。



2. タッチパネル画面で，登録した番号を入力(2桁/3桁)

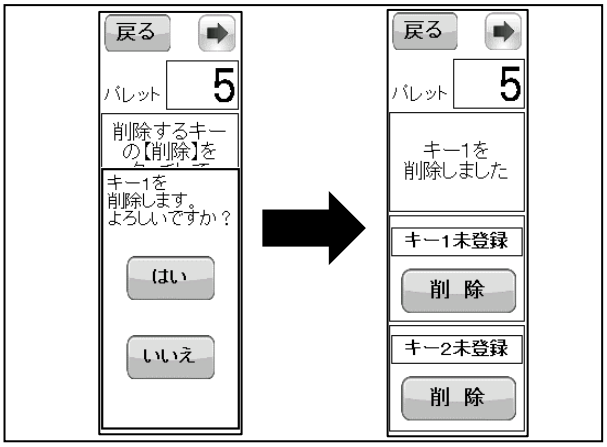
※パレット番号 1 の場合は 01 とする。

3. 登録済みとされているキー1／キー2／キー3／キー4 を選択し、［削除］をタッチする。



4. ［はい］　［いいえ］を選択しタッチする。

5. 選択したキー番号が未登録となっていることを確認後、［戻る］をタッチする。



6. メインメニューに戻り、［終了］をタッチする。

4-7　電気自動車用普通充電コンセントご利用手順（オプション）

＜ご利用時の注意事項＞

・電気自動車の充電に際しては、電気自動車の取扱説明書に記載された内容を十分理解し、注意及び指示事項を遵守するものとしてください。

・コンセント及び充電プラグの金属端子は濡れた状態では感電するおそれがあるため、絶対に触らないでください。

・電気自動車の充電以外に充電設備（コンセント）を利用しないでください。

・電気自動車に適合する充電プラグ以外での充電はしないでください。

・積雪時はブラシ等で雪を取り除き、充電してください。充電設備にヒーターはありません。

このパーキングには、電気自動車用充電コンセント（AC200V、20A）が設置されております。

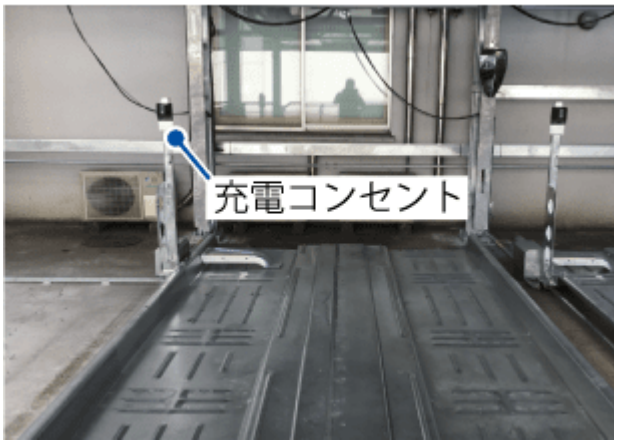
※1 収容する車の充電口の位置や充電ガンの形状によっては、パレットから充電ガンがはみ出し、ご使用出来ない場合がございます。

※2 出庫の際は、充電ケーブルは必ず車に格納してください。

＜◎充電コンセント搭載パレット＞

パレットの左側後ろに設置しております。

足元に注意してご利用下さい。

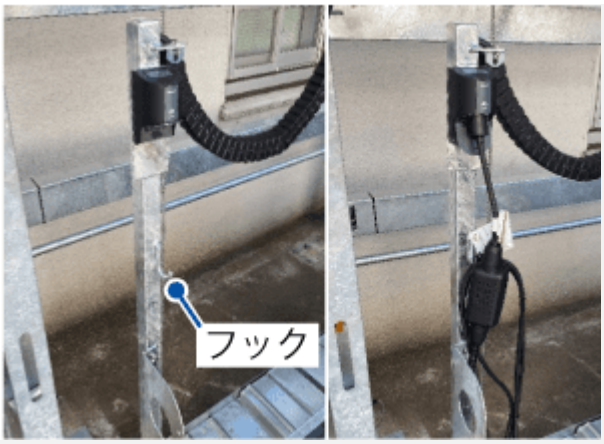


1. 充電プラグをコンセントに接続する

コンセントの蓋を下方へ開き、充電プラグを奥まで挿し込んでください。コンセントの蓋を離すと充電プラグにロックがかかります。

2. 充電プラグを車の充電口に接続する

充電プラグを車側の充電口に挿し込んでください。





※ 充電プラグはしっかりと奥まで挿し込んでロックをしてください。挿し込みが不十分な場合、焼損や火災の原因となります。

※ 充電ケーブルはフックに掛け、パレットからはみ出さない様にしてください。

3. 充電を開始する

・充電プラグをコンセントに接続と同時に充電が開始されます。

・予約充電方式の場合

スマホに該当システムのアプリをダウンロードし、個人情報を入力した後に、システムの手順に沿って充電を開始してください。

4. 充電を終了する

・充電プラグをコンセントから外して下さい。充電完了時は自動的に充電が停止します。

・予約充電方式の場合

スマホアプリから充電中止した後に、充電プラグをコンセントから外してください。

充電完了時は自動的に充電が停止します。

※充電プラグをコンセントから外すときは、コンセントの蓋を下側に下げるとロックが解除されます。コンセントの蓋を下げたまま、突起物に注意して充電プラグを抜いてください。

5. 点検・保守

パーキングを故障なく、安全にお使いいただくためには、日々の運転前におこなう日常の点検（清掃を含む）と定期保守が必要です。

5-1 日常の点検



＊下記は、オーナー、管理者のみが対象の内容です。

パーキングを安全に使用するためには、パーキングの日常の点検をおこない、正常に作動することを確認する必要があります。

危　険
作業中であることに気付かずに入出庫操作をおこなってしまうと、人身事故のおそれがあります。 ・点検作業時は、操作盤と、ゲート前の目立つところに「点検中」の立札などで表示をして、作業中であることをパーキングの外から確認できるようにしてから、作業を実施してください。

警　告
パーキングが損傷した状態で運転すると、けがや事故につながるおそれがあります。 ・パーキングの損傷が確認された場合は、すみやかにメンテナンス会社までご連絡ください。

5-1-1 日常の点検リスト

運転開始前の日常の点検では以下の項目を確認してください。

点検項目	点検内容	参照箇所
パーキングの運転	作動状況の確認	通常運転し、異音などがないことを確認してください。
パーキングの設備	パーキングの照明の点灯確認 アラーム音の確認	▶「5-1-2 パーキングの点検」
	清掃箇所の汚れ確認	▶「5-1-3 清掃」

5-1-2 パーキングの点検

下記の設備を点検してください。

タッチパネルが点灯しないとき、アラームが鳴らないときは、メンテナンス会社へ連絡して、対処方法をご相談ください。

点検個所	点検内容
タッチパネル	・正常に点灯すること。 ・正常に反応すること。
アラーム	・正常に鳴ること。
ターンテーブル 受電ランプ （オプション）	・点灯していること。
照明（オプション）	・正常に点灯すること。

5-1-3 清掃

パーキング内の汚れの確認および清掃作業を実施します。主に、下記項目について確認してください。

清掃が必要な場合は、以下の項目を確認の上、清掃作業を実施してください。

主な清掃箇所	清掃方法
警告銘板	・雑巾などの柔らかい布を水に濡らし、固くしぼってから、軽く拭くようにしてください。シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。
操作盤 タッチパネル	・雑巾などの柔らかい布を水に濡らし、固くしぼってから、軽く拭くようにしてください。シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。 ・タッチパネルはメガネ拭きなどの柔らかい布で、軽く拭くようにしてください。
パレット 乗降エリア	・ほうきなどで軽く掃いて、ゴミなどを取り除いてください。
横行レール	・ほうきなどで軽く掃いて、ゴミなどを取り除いてください。
センサ	・はたきなどで軽くはたいて、センサに障害物や付着物がかからないようにしてください。



横行レールは、パレットが横に移動するためのパレット下のレールで、昇降横行式のパーキングのみに設置されています。

危　険



機械にまき込まれるおそれがあります。

・パーキングの運転中は、パーキング内の清掃をしないでください。

⚠ 警 告
油、グリース、水などで滑り、けがをするおそれがあります。 ・パレットの清掃は、足元に注意しておこなってください。



5-2 定期保守

※下記は、オーナー・管理者のみ対象の内容です。

パーキングは、設置後から磨耗・劣化がはじまります。
磨耗・劣化の早さや程度は、パーキングの特性や環境・使用状況によって異なります。
磨耗・劣化を見逃し放置すると、パーキングの寿命が著しく短くなり、故障や事故にもつながります。
磨耗・劣化をはじめとするパーキングの経年変化や、使用状況の変化に対しては、定期的にパーキングを点検し、状態を診断して、設計思想や経験にもとづいて対処することが必要です。
管理者はメンテナンス会社に定期保守を依頼してください。

・パーキングを正常な状態に保つためには、メンテナンス会社との保守契約による定期保守が必要です。 ・当社指定の専門技術者以外の者がおこなった定期点検・修理や、当社指定以外の部品を使用した場合、不具合が発生しても当社は責任を負いません。

5-2-1 メンテナンス体制および保守契約の概要

メンテナンス体制および保守契約の概要は、以下の通りです。
・常時（365日、24時間）、不測の故障・事故に対応できる体制を整えています。
・点検・調整をおこない、結果を報告します。（定期保守）
・保全工事計画を作成し、部品交換や改修の適切な時期を提示します。

保守契約のご契約にもとづき、定期保守をおこないます。
詳しくは、当社指定の担当サービスセンターにお問い合わせください。
▶「10-1 サービスネットワーク」を参照してください。

消火設備の点検・保守は消火設備に添付の取扱説明書にしたがってください。

5-3 部品の交換周期



パーキングを適切に維持管理するためには、重要部品の定期的な交換が必要です。ここでは、重要部品の交換周期を下表に示します。
※下表に示す交換周期は、保証期間ではありませんのでご注意ください。

本表で示す重要部品の交換周期は、一般的な使用環境や使用頻度で利用されるパーキングの交換周期であり、交換工事の目安期間としてご利用ください。なおパーキングの使用環境及び使用頻度によって重要部品の交換周期は異なりますのでご注意ください。詳しくはメンテナンス会社から提案しております保全工事計画をご覧ください。

パーキングを適切に維持管理するために必要な部品を定期的に交換しなかった場合は、部品の劣化による故障によって、事故やパーキング装置の損傷及び車の損傷などにつながるおそれがあります。管理者は、メンテナンス会社から保全工事計画を受け取り、計画に従ってパーキングを適切に維持管理してください。
（保全工事計画とは、メンテナンス会社によって作成される、パーキングを適切に維持管理するために必要な保全を施す時期を示した計画です。）

管理者は、メンテナンス会社と定期的に協議の場をもち、点検項目別に点検周期を確認し、交換周期の範囲内で適宜見直しをおこなってください。
なお、下表に示す部品は、パーキングの年代や機種・型式の違いなどによって、重要部品の手配に時間がかかる場合がありますので、詳しくはメンテナンス会社へご確認ください。

重要部品		交換周期	保全工事などによる交換がなされない場合の危険性
駆動部関係	昇降電動機	10 年	パーキングを適切に維持管理するために必要な部品を交換しなかった場合、パーキングが正常に動作しないおそれがあります。車・搬器・ゲートなどの落下や、パーキング機器と人の衝突・挟まれ、開口部からの転落、人の閉じ込めなどによる人身事故が発生し、死亡または重傷を負う可能性があります。パーキングを適切に維持管理するために必要な保守点検および保全工事計画に従った部品交換をおこなってください。 また、事前の計画がなく事故発生後に交換工事をおこなうことになると、部品手配に時間がかかる場合が
	横行電動	7 年	
ワイヤロープ関係	昇降ワイヤロープ	10 年	
	昇降ワイヤシーブ	7 年	
チェーン関係	チェーン	8 年～10 年	
	スプロケット	7 年～10 年	
ゲート関係	ゲート電動機	7 年	
	ゲートワイヤロープ	5 年	
	ローラー・シュー	10 年	
落下防止装置関係	落下防止装置	5 年～8 年	
油圧装置関係	シリンダ・配管類	10 年	
	各種制御弁	8 年	
	パッキン類	5 年	
	ホース類	5 年	
その他機械部品関係	車輪	10 年	

	各種ローラー	8 年	ありますので、計画的に保全工事をおこなってください。
電気制御関係	電磁開閉器	6 年～8 年	パーキングを適切に維持管理するために必要な部品を交換しなかった場合、パーキングが正常に動作しないおそれがあります。車・搬器・ゲートなどの落下や、パーキング機器と人の衝突・挟まれ、開口部からの転落、人の閉じ込めなどによる人身事故が発生し、死亡または重傷を負う可能性があります。パーキングを適切に維持管理するために必要な保守点検および保全工事計画に従った部品交換をおこなってください。 また、事前の計画がなく事故発生後に交換工事をおこなうことになると、部品手配に時間がかかる場合がありますので、計画的に保全工事をおこなってください。
	シーケンサ	7 年～8 年	
	制御装置（基板等）	6 年～8 年	
	インバータ	5 年	
	移動ケーブル	5 年～7 年	
	リミットスイッチ	6 年～8 年	
	各種検知装置	6 年～7 年	
操作盤関係	タッチパネル	5 年	
	キーシリンダ	3 年～5 年	
	押しボタンスイッチ類	5 年～8 年	
その他	外装関係	台風などの強風時	台風などの強風による外装の落下により、隣家や路上を通行中の人が死亡または重傷を負う可能性や走行中の車などの物損事故に繋がるおそれがあります。管理者は、台風や強風が発生する際には、事前に外装の健全性の確認をおこなってください。

6. 災害時の対処

O	M	U
オーナー	管理者	取扱者

6-1 火災時の対処

火災が発生した場合は、以下の手順により対処してください。

⚠ 危 険	
	火災発生時には、人身事故のおそれがあります。 ・パーキング内で火災発生時は、すみやかにパーキングから離れてください。 ・消火設備の位置、使用方法を日頃から確認しておいてください。 パーキングが運転中であると、消火作業時に二次災害を起こすおそれがあります。 ・可能であればすみやかに［非常停止］ボタンを押して、パーキングを停止させてください。 パーキング内は、高温、低酸素の可能性があり、非常に危険な状態です。 ・火災後のパーキングに関する技術的な処置は、メンテナンス会社がおこないます。作業が終了するまで、パーキングには近づかないでください。
	転落による人身事故のおそれがあります。 ・消火はしごは火災などの緊急時以外は使用しないでください。

⚠ 警 告	
	火災発生後の復旧作業は、けがや事故につながるおそれがあります。 ・火災の規模および原因に関わらず、詳細な状況をメンテナンス会社にご連絡ください。

1. 火災を発見した人は、即座に大声で周囲の方に状況を知らせてください。
2. パーキング内に人がいる場合は、可能であれば、すみやかに安全な場所に避難させ、適切な処置をおこなってください。
3. 消防署に通報してください。
4. パーキング内や周囲の安全を確認の上、可能ならば、初期消火をおこなってください。
   ▶消火設備の位置は「2-2 乗降エリア」を参照の上、使用方法を日頃から確認しておいてください。
5. 管理者は、メンテナンス会社にご連絡ください。

6-2 地震時の対処

O	M	U
オーナー	管理者	取扱者

地震が発生した場合は、以下の手順により対処してください。
地震の震度は、公式に発表されたものをお使いください。

震度5以上の場合

⚠ 危　険	
	地震発生時は、人身事故のおそれがあります。 ・震度５以上の地震発生時は、入出庫操作をおこなわないでください。落下物などの危険があり、パーキング内および付近は大変危険です。［非常停止］ボタンを押して、メンテナンス会社に連絡してください。

1. すみやかに安全な場所に避難してください。

2. 可能ならば、［非常停止］ボタンを押してください。［非常停止］ボタンを押した後は、パーキングから離れてください。

⚠ 危　険	
	地震の被害により、二次災害を起こすおそれがあります。 ・可能ならば、すみやかに［非常停止］ボタンを押して、パーキングを停止させてください。

震度4以下の場合

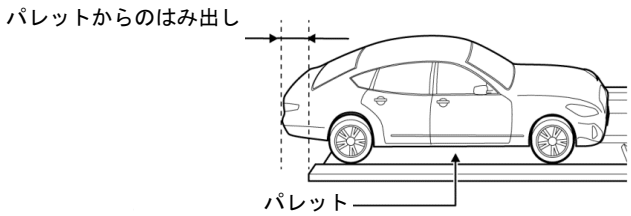
1. 余震などの心配がなくなった場合、管理者は以下の確認作業をおこなってください。
   ・パーキング付近およびパーキング内の落下物確認
   ・パレットがずれていないことを確認
   ・通常運転し、異音などがないことを確認

   上記確認項目でひとつでも異常がある場合は、メンテナンス会社にご連絡ください。

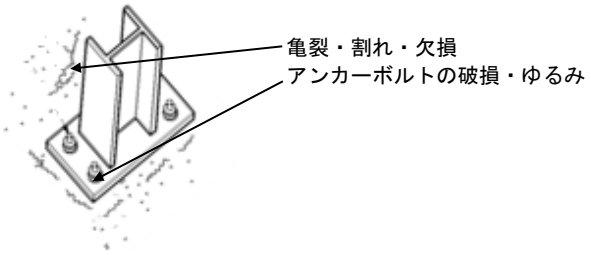
注 意

地震発生後、以下の状態になっているおそれがあります。

■パレットからのはみ出し



■取合部の亀裂や破損



・パレットからのはみ出し、取合部の亀裂や破損を確認した場合は、メンテナンス会社にご連絡ください。

6-3 強風時の対処

O	M	U
オーナー	管理者	取扱者

強風時には、以下の通り対処してください。

危 険

・台風や発達した低気圧など強風が予想されるときは、パーキングを使用しないでください。上段に車を収納するパーキングでは、強風時に車がパレットから落下するおそれがあります。状況に応じて、上段に駐車している車を降ろして安全な場所に避難させてください。



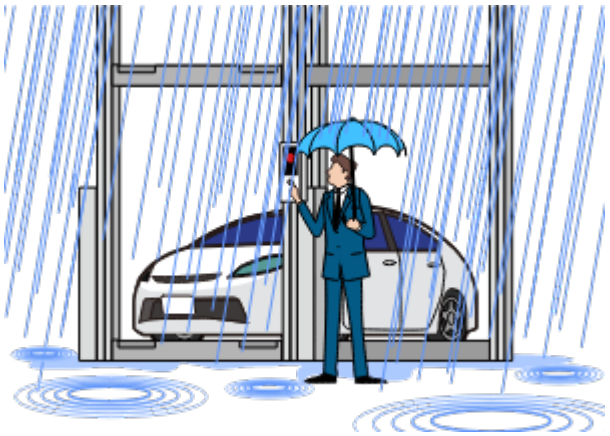
6-4 豪雨時の対処

O	M	U
オーナー	管理者	取扱者

豪雨時には、以下の通り対処してください。

危 険

・特にピット有のパーキングでは、豪雨や冠水時に排水が間に合わないと地下に水が溜まる危険があります。豪雨や冠水が予想されるときは、地下に駐車している車を地上に出して、安全な場所に避難させてください。



6-4-1 インターロック機能と解除方法について

パーキング使用中は、インターロック機能により、同じユニット内で他のパレットの呼び出しができないようになっています。

単純昇降式の場合、ピット内のパレットをすべて上昇させて、車を一時的に避難させることができるように、インターロック機能を一時的に解除することが可能です。

解除方法については、管理者のみの配付となります。

危 険

重大な事故が発生するおそれがあります。

・インターロック機能は安全のための機能です。これを解除すると、想定外の事故が発生する可能性があります。緊急時以外は絶対に使わないでください。

・インターロック機能の解除は、管理者または管理者から許可を受けた取扱者以外は、絶対に使用しないでください。

6-5 積雪時の対処

O	M	U
オーナー	管理者	取扱者

積雪時には、以下の通り対処してください。

危　険

積雪や凍結時にはパレットが滑りやすくなり、挟まれや転倒などの人身事故のおそれがあります。

・積雪や凍結でパーキングが正しく作動しない場合がありますのでご利用を控えてください。

・吹雪など視界が悪い状況での操作やパレットヒータ（オプション）の融雪能力が追い付かないほどの大雪での操作は、想定外の事故が発生するおそれがありますので、ご利用を控えてください。

・パーキングを使用する際は、センサ類、可動部、ゲート周りの除雪を行ってください。

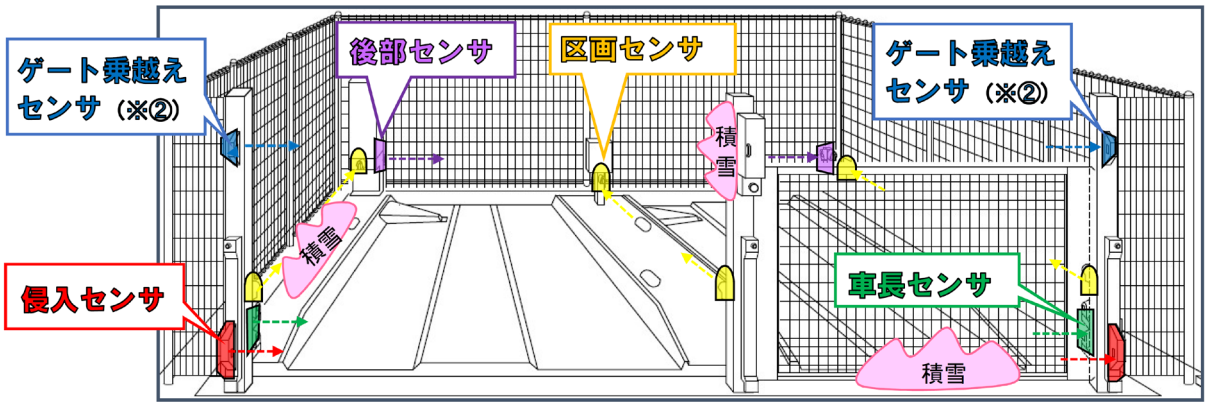


タッチパネルに「～センサ検知」のエラー画面が表示されて操作ができない場合は，装置内の安全センサが雪で塞がっているか、センサ延長線上に積雪があります（※①）。
次の手順でゲートを開けて、雪を取り除いてから操作をしてください。
寒冷地仕様であっても、積雪（※①）によりパーキングが動かないことがあります。

1. キーを OFF にして、操作盤左右の「ゲート乗越えセンサ」（※②）が雪で塞がっていないことを確認。
2. 再度キーを ON にして、地上部区画の呼び出し操作でゲートを開ける。
3. パーキング内に入り、下図の安全センサの雪を取り除く。
4. ゲートを閉じて操作を終了させる。
5. 改めてご利用区画を呼び出す。



エラー画面



・ゲート乗越え・侵入センサは装置外部にあるため，操作前に雪で塞がっていないか確認してください

6-6　停電時の対処

O	M	U
オーナー	管理者	取扱者

停電時には，以下の通り対処してください。
停電によりパーキングが動かない場合はメンテナンス会社に連絡してください。

危　険

重大な事故が発生するおそれがあります。
・停電時はパーキングの中に入らないでください。
・パーキング内制御盤のブレーカーを ON にしないでください。



1. 停電後はタッチパネルの表示にしたがって慎重に操作してください。
2. 停電後にパーキングが動かない場合はメンテナンス会社に連絡してください。

7. その他の注意事項

7-1 改造について

O	M	U
オーナー	管理者	取扱者

⚠ 危 険	
	パーキングの改造は重大事故をまねくおそれがあります。 なお、改造が原因で発生した故障、事故に関しては当社では責任を負いかねます。

7-2 錆・白さび・油など汚れの対処

注 意	
	錆・白さび・油などの汚れが車に付くおそれがあります。 それらが車に付着した場合は、早めに洗車してください。 車両汚損については保証外となりますのでご理解いただきますようお願いたします。 ・環境や外的要因により、通常より早くパーキングに錆が発生するおそれがあります。（車のナンバープレート取付ボルトの錆が付着する例など。） 錆を放置すると、錆が車に付くだけでなく、パーキングの寿命を短くするおそれがあり、防錆処置が必要です。（保守契約の範囲外になります。当社指定の専門技術者にお問い合わせください。） ・環境によりめっき部に白さびが発生するおそれがあります。これは素材を保護するための正常な反応で耐食性に影響はありません。 ・パーキングは油、グリースを給油する必要があるため、環境や天候などによりパーキング作動中まれに油、グリースなどが車に飛び散ることがあります。

8. こんなときは

8-1 異常発生時の対処

O	M	U
オーナー	管理者	取扱者

異常を検知すると、異常内容に応じてタッチパネルに異常発生画面が表示され、パーキングの運転は自動的に停止します。

異常が発生した場合は、以下の手順により対処してください。

1. ▶「8-1-1 異常発生時のタッチパネル表示および対処方法」に記載されている異常が発生した場合は、対処方法にしたがって対処してください。

2. 対処方法にしたがって対処しても、通常操作ができない場合および、「8-1-2 その他のタッチパネル表示」に記載されている異常が発生した場合は、取扱者は管理者に連絡してください。管理者はメンテナンス会社に連絡し、指示にしたがってください。

8-1-1 異常発生時のタッチパネル表示および対処方法

タッチパネル表示	発生事象	対処方法
番号の入力間違い	登録のない番号を呼び出した。	①番号を確認して、タッチパネルのテンキーで再度、番号を入力してください。
車長センサ検知	車長センサを障害物が遮り、センサが検知した。	①センサを遮っている障害物を確認してください。 ②車が遮っている場合は、車を駐車スペース内に駐車し直してください。 車以外の障害物が遮っている場合は、安全な場所に移動してください。 ③センサを遮っている障害物がないことを確認してください。
侵入センサ検知	侵入センサを障害物が遮り、センサが検知した。	①センサを遮っている障害物を確認してください。 ②人が遮っている場合は、パーキングが作動しても安全な場所に誘導してください。 人以外の障害物が遮っている場合は、安全な場所に移動してください。 ③センサを遮っている障害物がないことを確認してください。 ④[戻る]をタッチしてください。

タッチパネル表示	発生事象	対処方法
後部センサ検知	後部センサを障害物が遮り、センサが検知している状態でゲートを閉めた。	①センサを遮っている障害物を確認してください。 ②車が遮っている場合は、車を駐車スペース内に駐車し直してください。 車以外の障害物が遮っている場合は、安全な場所に移動してください。 ③センサを遮っている障害物がないことを確認してください。 パーキング内に人がいないことを確認してください。 ④[確認しました]を押してください。
区画センサ検知 **（パーキング作動時）**	パレットが昇降作動中に区画検知センサを障害物が遮り、センサが検知した。	①センサを遮っている障害物を確認してください。 ②人が遮っている場合は、パーキングが作動しても安全な場所に誘導してください。 ③センサを遮っている障害物がないことを確認してください。 パーキング内に人がいないことを確認してください。 ④[戻る]をタッチしてください。
区画センサ検知 **（パーキング停止時）**	パーキング停止時にゲートが閉まっている状態で、区画センサを障害物が遮りセンサが検知した。	①センサを遮っている障害物を確認してください。 ②人が遮っている場合は、パーキングが作動しても安全な場所に誘導してください。 ③センサを遮っている障害物がないことを確認してください。 パーキング内に人がいないことを確認してください。 ④[無人確認ボタン]を押してください。
扉乗越えセンサ検知 **（パーキング作動時）**	パーキング作動中にゲート乗越えセンサを障害物が遮り、センサが検知状態となった。	①センサを遮っている障害物を確認してください。 ②人が遮っている場合は、パーキングが作動しても安全な場所に誘導してください。 人以外の障害物が遮っている場合は、安全な場所に移動してください。 ③センサを遮っている障害物がないことを確認してください。 パーキング内に人がいないことを確認してください。 ④[安全確認ボタン]を押してください。

タッチパネル表示	発生事象	対処方法
装置内の安全センサが検知しました	電源ＯＦＦ時にゲート乗越え検知センサを障害物が遮り、センサが検知状態となった。	①センサを遮っている障害物を確認してください。 ②人が遮っている場合は、パーキングが作動しても安全な場所に誘導してください。 ③センサを遮っている障害物がないことを確認してください。 パーキング内に人がいないことを確認してください。 ④［安全確認ボタン］を押してください。
装置内の安全センサが検知しました	電源ＯＦＦから3分間以内に区画検知センサを障害物が遮り、センサが検知状態となった。	①パーキング内の人の有無を確認してください。 **パーキング内に人がいる場合** ②ゲートが作動しても安全な場所に誘導してください、 ③ゲート「開く」をタッチし続け、ゲートを開けてください。 ④ゲートが停止していることを確認し、パーキング内から人を退出させてください。 ⑤パーキング内に人がいないことを確認して、ゲート「閉じる」をタッチし続け、ゲートを閉じてください。 ⑥センサを遮っている障害物がないことを確認してください。 パーキング内に人がいないことを確認してください。 ⑦［無人確認］ボタンを押してください。 **パーキング内に人がいない場合** ⑧センサを遮っている障害物がないことを確認してください。 パーキング内に人がいないことを確認してください。 ⑨［無人確認］ボタンを押してください。

8-1-2　その他のタッチパネル表示

タッチパネル表示	発生事象	対処方法
非常停止	パーキング動作中に［非常停止］ボタンを押した。	管理者またはメンテナンス会社に連絡してください。
下降中 車長検知センサ遮光	地下パレット下降開始から10秒間以内に車長検知センサを障害物が遮り、センサが検知状態となった。	管理者またはメンテナンス会社に連絡してください。

タッチパネル表示	発生事象	対処方法
モータ過電流検出	パレットに規定以上の重量が載っている。または規定以上の負荷がかかっている。	管理者またはメンテナンス会社に連絡してください。
昇降タイムオーバー	規定時間内に昇降動作が完了しない。	管理者またはメンテナンス会社に連絡してください。
横行タイムオーバー	規定時間内に横行動作が完了しない。	管理者またはメンテナンス会社に連絡してください。
ゲートタイムオーバー	規定時間内にゲートの動作が完了しない。	管理者またはメンテナンス会社に連絡してください。
落下防止異常	規定時間内に安全装置の動作が完了しない。	管理者またはメンテナンス会社に連絡してください。
ショートタイム異常	作動時間が規定時間より短すぎる。	管理者またはメンテナンス会社に連絡してください。
リミットスイッチ異常	パレットの停止スイッチに異常がある。	管理者またはメンテナンス会社に連絡してください。
上限リミット異常	パレットの停止スイッチに異常がある。	管理者またはメンテナンス会社に連絡してください。
上限／下限リミット異常	パレットの停止スイッチに異常がある。	管理者またはメンテナンス会社に連絡してください。
横行リミット異常	パレットの停止スイッチに異常がある。	管理者またはメンテナンス会社に連絡してください。
横行昇降同時起動異常	パレットの停止スイッチまたは制御系に異常がある。	管理者またはメンテナンス会社に連絡してください。
同時昇降異常	パレットの停止スイッチまたは制御系に異常がある。	管理者またはメンテナンス会社に連絡してください。
上限オーバー異常	パレットの停止スイッチに異常がある。	管理者またはメンテナンス会社に連絡してください。
インバーター異常	インバーター電源装置に異常がある。	管理者またはメンテナンス会社に連絡してください。
インバーターＲＵＮ異常	インバーター電源装置に異常がある。	管理者またはメンテナンス会社に連絡してください。
電流検出異常	ケーブル断線または接触不良がある。 インバーターまたは電流検出センサに異常がある。	管理者またはメンテナンス会社に連絡してください。

⚠ 警　告

・タッチパネルに異常発生画面が表示されていない場合でも、通常操作ができない場合および、異常を感じた場合は、管理者またはメンテナンス会社に連絡してください。

8-2 よくある質問

O	M	U
オーナー	管理者	取扱者

よくある質問の状況と原因、対処方法を以下に示します。

状 況	原 因	対処方法
操作キーが抜けない。	前の利用者の操作が完了していない。	前の利用者の操作が完了するまで待ってください。
	操作が完了しているのに操作キーが抜けない。	管理者またはメンテナンス会社に連絡してください。
番号を間違えて呼び出した。	—	呼び出した番号を収納して、始めから操作してください。
[車長センサ検知]・[侵入センサ検知]・[区画センサ検知]・[扉乗越えセンサ検知]・[装置内の安全センサが検知しました]のメッセージが消えない。	車や人、荷物など、障害物がある。センサにごみや雪が付いている。	障害物を取り除いてください。
	障害物が何もない。	管理者またはメンテナンス会社に連絡してください。
ターンテーブルが回らない。	車のタイヤがターンテーブルより外にある。	ターンテーブル内に停車し直して、(操作盤に表示の)リセット操作をしてください。
車の中に忘れ物をした。	—	通常操作でパレットを呼び出して、忘れ物を取ってください。
パーキング内の隙間に物を落とした。	—	管理者に連絡してください。管理者は状況をメンテナンス会社に連絡し、指示にしたがってください。
代車を使用することになった。	—	取扱者は管理者に連絡してください。管理者は入庫可能車であるか、実車にて確認してください。 ▶「3-1 入庫車に関する安全重要項目」を参照してください。
車を買い替えた。	—	

9. 管理者の役割

9-1 管理者の役割



※下記は、オーナー・管理者のみ対象の内容です。

管理者は、パーキングの安全管理に関する最高責任者として、入庫する車の確認、取扱者に対する取扱説明など、パーキングを安全に使用するために必要なすべてのことをおこなってください。

また、管理者には、機械式駐車場の保全、パーキング内における人および車の安全確保に必要な管理義務があります。「機械式駐車場の管理基準」パンフレットをあわせてご確認ください。

なお、専任の取扱者を任命し、管理者としての役割を代行させる場合は、その責任範囲を明確にし、十分な教育訓練をおこなってください。

■車の確認と入庫の許可

入庫可能な寸法・重量であることを確認した車に対して、入庫許可を与えてください。

▶「3-1 入庫車に関する安全重要項目」を参照してください。

パーキングを時間貸しなどに使用する場合には、専任の取扱者を指定してください。専任の取扱者に、入庫可能な寸法・重量であることを確認させてから、入庫を許可するように指示してください。

■取扱者の指定と操作の許可

管理者が取扱者として指定した人以外には、パーキングの操作をさせないでください。

取扱者の指定は、取扱説明書を渡し、取扱方法のすべてを説明するとともに、実際のパーキングにおいて操作などの指導をおこない、取扱説明書の内容を十分に理解し、これを遵守し、安全が守れると判断した人のみに操作許可を与えてください。

パーキングを時間貸しなどに使用する場合は、指定した専任の取扱者にはパーキングの利用者に対して安全な利用を指示し、駐車場の安全を確保する重要な役目があることを認識させてください。

■パーキングの異音などが聞こえた場合

パーキングの運転中に異音などが聞こえた場合は、重大な事故が発生したおそれがあります。

ただちに［非常停止］ボタンを押し、パーキングを停止させるとともに、メンテナンス会社に連絡し、指示にしたがってください。

■非常時の避難誘導と迅速な対処

非常事態が発生した場合は､パーキング内および付近の人を安全な場所に避難させるなど、適宜状況を判断し、適切な処置をおこなってください。

豪雨時など、車に冠水のおそれがある場合は、車をパーキングから出庫し、安全な場所に避難させてください。

	昇降ピット式の場合は、インターロック機能を解除することで一時的にピット内のパレットのすべてを上昇させておくことが可能です。 ▶「6-4-1 インターロック機能と解除方法について」を参照してください。

10. サービスネットワーク

10-1　サービスネットワーク

O	M	U
オーナー	管理者	取扱者

▶パーキングの故障については、管理者または操作盤の緊急連絡先に連絡してください。

No.	サービスセンター(SC)	〒	住所	TEL	FAX
1	札幌第 1SC	064-0807	北海道札幌市中央区南 7 条西 1-13-73（第二弘安ビル）	(011)512-5311	(011)512-2060
2	札幌第 2SC	060-0001	北海道札幌市中央区北 1 条西 10-1-21（ユーネットビル）	(011)272-5311	(011)271-2060
3	青森 SC	030-0802	青森県青森市本町 4-9-1	(0177)23-3321	(0177)23-3348
4	盛岡 SC	020-0151	岩手県滝沢市大釜外館 116-1（株式会社ﾃｨｰｴｽﾋﾞｰ東北 本社内）	(019)687-1433	(022)215-0036
5	仙台 SC	980-0871	宮城県仙台市青葉区八幡 5-2-17	(022)215-0033	(022)215-0036
6	秋田 SC	010-0001	秋田県秋田市中通り 2-3-8（秋田アトリオンビル）	(0188)35-7297	(0188)35-8816
7	宇都宮 SC	320-0816	栃木県宇都宮市天神 1-5-4	(028)638-2277	(028)638-2201
8	千葉 SC	263-0051	千葉県千葉市稲毛区園生町 1015-1（山中ビル）	(043)256-5177	(043)255-9537
9	埼玉第 1SC	338-0013	埼玉県さいたま市中央区鈴谷 6-3-26	(048)853-9911	(048)853-9925
10	埼玉第 2SC	359-0024	埼玉県所沢市下安松 925-14	(04)2946-0831	(04)2946-0833
11	横浜第 1SC	220-0003	神奈川県横浜市西区楠町 14-5（タイムズビル 5 階）	(045)314-4567	(045)314-4578
12	横浜第 2SC	231-0023	神奈川県横浜市中区山下町 23（日土地山下町ビル 4 階）	(045)212-0871	(045)212-0874
13	横須賀 SC	238-0006	神奈川県横須賀市日の出町 3-12-1（安浦 Terrace）	(046)827-1671	(046)827-1675
14	藤沢 SC	251-0052	神奈川県藤沢市藤沢 520-6（カーニプレイス藤沢 5 階）	(0466)50-6215	(0466)50-6217
15	新潟 SC	950-0962	新潟県新潟市中央区出来島 2-5-1	(025)283-6010	(025)283-9595
16	東京第 1SC	111-0056	東京都台東区小島 2-18-10（ハマビル）	(03)5833-8831	(03)5833-8832
17	東京第 2SC	106-0031	東京都港区西麻布 3-24-20（KASUMICHO　TERRACE7 階）	(03)5414-2581	(03)3479-7373
18	東京第 3SC	102-0072	東京都千代田区飯田橋 3-11-13（飯田橋ｉ－MARK　ANNEX4F）	(03)3264-2511	(03)3222-0760
19	東京第 4SC	106-0031	東京都港区西麻布 3-24-20（KASUMICHO　TERRACE7 階）	(03)5414-2584	(03)3479-7374
20	東京第 5SC	104-0061	東京都中央区銀座 7-16-14（銀座イーストビル 9 階）	(03)3248-5391	(03)3248-5398
21	東京第 6SC	171-0014	東京都豊島区池袋2-53-5（KDX池袋ウエストビル4階）	(03)3980-6360	(03)3980-6368
22	東京第 7SC	191-0024	東京都日野市万願寺 5-6-9	(042)582-6221	(042)582-6224
23	東京第 8SC	108-0023	東京都港区芝浦 2-13-9（前川芝浦ビル 2　2 階）	(03)5440-7751	(03)5440-6706
24	東京第 9SC	104-0052	東京都中央区月島 4-6-1（PROSPER 長野 5 階）	(03)5144-0017	(03)5144-0018
25	静岡 SC	420-0043	静岡県静岡市葵区川辺町 2-1-1	(054)272-6410	(054)272-6430

No.	サービスセンター(SC)	〒	住所	TEL	FAX
26	熱海 SC	413-0015	静岡県熱海市中央町 3-10 （松美ビル 1 階）	(0557)83-3878	(0557)86-5026
27	富山 SC	930-0008	富山県富山市神通本町 2-3-14 （本町ビル 1 階）	(076)444-0707	(076)441-3366
28	浜松 SC	430-0926	静岡県浜松市中区砂山町 339-24	(053)459-3211	(053)459-3213
29	金沢 SC	920-0025	石川県金沢市駅西本町 2-6-5	(076)223-3527	(076)221-0218
30	福井 SC	910-0006	福井県福井市大手中央 3-3-23 （北陸中央ビル 3 階）	(0776)23-0107	(0776)23-0604
31	岡崎 SC	444-0044	愛知県岡崎市康生通南 3-3 （マルワビル 5 階）	(0564)28-4918	(0564)28-4917
32	名古屋第 1SC	461-0005	愛知県名古屋市東区東桜 2-6-11 （LUXES ビル 2 階）	(052)935-0511	(052)935-0513
33	名古屋第 2SC	461-0005	愛知県名古屋市東区東桜 2-6-11 （LUXES ビル 3 階）	(052)933-0620	(052)933-3727
34	岐阜 SC	500-8385	岐阜県岐阜市下奈良 2-5-1	(058)268-3380	(058)268-3382
35	京都 SC	604-8111	京都府京都市中京区三条通り高倉東入ル桝屋町 59-1 （フェリーチェおかむら）	(075)256-9150	(075)256-9152
36	大阪第 1SC	531-0071	大阪府大阪市北区豊崎 5-6-2 （北梅田大宮ビル 3 階）	(06)6373-3091	(06)6373-3357
37	大阪第 2SC	556-0023	大阪府大阪市浪速敷津西 1-1-31 （ドゥーエなんば南 1 階）	(06)6630-1600	(06)6630-0037
38	大阪第 3SC	542-0083	大阪府大阪市中央区備後町 1-7-10 （日本生命備後町ビル 8 階）	(06)6261-3711	(06)6261-3755
39	大阪第 4SC	590-0957	大阪府堺市中之町西 1-1-3 （堺第一生命ビル 7 階）	(0722)24-0086	(0722)24-3136
40	大阪第 5SC	541-0054	大阪府大阪市中央区南本町 4-1-8 （アルテビル南本町 5 階）	(06)6245-0925	(06)6245-0947
41	大阪第 6SC	571-0066	大阪府門真市幸福町 4 番 22 号 （ヨシカネビル 6 階）	(06)6780-2870	(06)6780-2877
42	大阪第 7SC	564-0053	大阪府吹田市江の木町 20-13	(06)6337-0333	(06)6337-0335
43	神戸 SC	651-0095	兵庫県神戸市中央区旭通 1-2-7 （栄ビル）	(078)251-2709	(078)261-3073
44	西宮 SC	662-0914	兵庫県西宮市本町 8-12 （マルシンビル 2 階）	(0798)36-5797	(0798)22-1429
45	奈良 SC	630-8012	奈良県奈良市二条大路南 1-2-33 （レナ新大宮ビル 4 階）	(0742)35-9520	(0742)35-9522
46	広島第 1SC	730-0854	広島県広島市中区土橋町 4-17 （ＩＵＫ広島ビル 3 階）	(082)532-6071	(082)234-1805
47	広島第 2SC	730-0854	広島県広島市中区土橋町 4-17 （ＩＵＫ広島ビル 4 階）	(082)532-6297	(082)233-0039
48	呉 SC	737-0822	広島県呉市築地町 2-60 （旭ビル 2 号）（有限会社　協栄内）	(082)332-4291	(082)233-0039
49	高松 SC	760-0036	香川県高松市城東町 2-4-15	(087)822-5239	(087)821-6067
50	高知 SC	780-8010	高知県高知市桟橋通 1-8-1	(088)837-7101	(088)832-3711
51	松山 SC	790-0964	愛媛県松山市中村 5-10-5	(089)932-9556	(089)946-2497
52	北九州 SC	803-0818	福岡県北九州市小倉北区竪町 1-4-17	(093)581-2730	(093)581-4277
53	大分 SC	870-0024	大分県大分市錦町 3-1-11	(097)533-7437	(097)533-7438
54	福岡第 1SC	812-0043	福岡県福岡市博多区竪粕 2-4-14	(092)632-1351	(092)632-1361

No.	サービスセンター(SC)	〒	住所	TEL	FAX
55	福岡第 2SC	810-0072	福岡県福岡市中央区長浜 2-4-1 （東芝福岡ビル 6 階）	(092)762-3131	(092)762-3500
56	久留米 SC	839-0862	福岡県久留米市野中町 1208-3 （寿ビル 2 階）	(0942)46-3470	(0942)46-3475
57	長崎 SC	850-0874	長崎県長崎市魚の町 3-10	(095)818-7188	(095)823-6003
58	熊本 SC	860-0811	熊本県熊本市中央区本荘 2-7-15	(096)364-1177	(096)364-1160
59	鹿児島 SC	890-0061	鹿児島県鹿児島市天保山町 4-6 （秀英社ビル）	(099)251-1188	(099)251-5355
60	沖縄 SC	900-0015	沖縄県那覇市久茂地 1-7-1 （琉球リース総合ビル）	(098)869-7536	(098)869-7538

▲上記 SC（サービスセンター）以外にも下記のとおり全国各地に特約サービス店を設けております。

札幌市　釧路市　帯広市　旭川市　小樽市　岩見沢市　北見市　千歳市　函館市　室蘭市
八戸市　弘前市　仙台市　秋田市　岩手郡　大館市　山形市　　郡山市　いわき市　会津若松市
ひたちなか市　河内郡　高崎市　熊谷市　さいたま市　妙高市　秩父市　船橋市　柏市　江戸川区
大田区　練馬区　横浜市　川崎市　厚木市　甲府市　松本市　八王子市　岡谷市　十日町市
三条市　佐渡市　静岡市　浜松市　沼津市　豊橋市　一宮市　四日市市　名古屋市　福井市
大阪市　和歌山市　大飯郡　草津市　神戸市　姫路市　洲本市　和歌山市　周南市　山口市
鳥取市　米子市　松江市　浜田市　岡山市　尾道市　福山市　呉市　徳島市　高松市　福岡市
長崎市　佐世保市　宮崎市

二・多段式パーキング　機械式駐車装置
取扱説明書

2023 年 10 月 16 日

発行人　　株式会社 IHI 扶桑エンジニアリング

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部または全部について株式会社 IHI 扶桑エンジニアリングから文書による許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製することは禁じられています。

Rev4.04